

第七十四回帝國議會 院 軍用自動車検査法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十四年二月十八日(土曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事田村 秀吉君 理事鹽川 正藏君

理事伊藤東一郎君 理事中田 儀直君

信太儀右衛門君 多田 滿長君

小泉 純也君 瀧澤 七郎君

森田 政義君 伊東 岩男君

金井 正夫君 安藤 孝三君

同月十七日委員藤生安太郎君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ伊東岩男君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

陸軍大臣 板垣征四郎君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍參與官 中井川 浩君

陸軍少將 中村 明人君

海軍政務次官 松田竹千代君

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省專門 男爵山川 建君
學務局長 藤野 惠君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

陸軍歩兵少佐 今村 正夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中

改正法律案(政府提出)

兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送

付)

○山本委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨

日伊藤君ヨリノ質問ニ對スル陸軍ノ答辯ノ

留保サレテアリマシタ點ニ付テ、先ヅ陸軍

大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒマス

○板垣國務大臣 昨日伊藤君ノ御質問デ、

徴兵保險會社ヲ國立トスル意思ガナイカト

云フコトニ付テノ御質問ニ對シテ、政府委員

ガ保留致シマシタ點ヲ御答致シマス、徴兵

保險會社國立ノ件ハ其ノ主務ガ他省ニ關係

スル所デアリマスノデ、其ノ方面ト連絡ヲ

致スコトト致シマスカラ左様御諒承願ヒマ

ス

○多田委員 只今非公式ニ委員長カラ御話

ガアリマシタガ、私モ成ベク簡畧ニスル積

リデアリマスケレドモ、陸軍大臣ニ特ニ御

願致シテ置キマスノハ、此ノ問題ハ我が國

軍ノ根幹ニ關係ノアル問題デアリマスシ、

教育上ニモ非常ニ重要ナ關係ヲ持ツテ居ル

事柄デアリマスカラ、特ニ一ツ御暇ヲ作ツ

テ戴イテ應答サレンコトヲ御願致シマス

私ノ第一ニ伺ヒタイコトハ、今回ノ兵役

法改正ハ時代ノ進運ニ伴ヒ且又今次ノ事變

ニ鑑ミテノコトデアラウト存ジマス、私此

ノ改正ニ付テ別ニ異存ヲ持ツテ居ル者デハ

アリマセスガ、此ノ際我ガ國軍トシテ將來

戰ニ備フル爲ニ、適當ナル對策ヲ持合セデ

アラウカドウカト云フコトヲ先ヅ伺ツテ置

キタイト思ヒマス

○板垣國務大臣 將來國防兵力ノ増大ト云

フコトハ避クベカラザル事項デアルコトハ

勿論デアリマス、隨テ其ノ兵員ヲ量ニ於テ

又質ニ於テ擴充維持スルト云フコトハ國軍

トシテモ最モ重大ナコトデアリマスノデ、

ソレト研究ヲ進メテ居ル次第デアリマス

ガ、何ト申シマシテモ今後ノ情勢カラ申シ

マスルナラバ、所謂國民皆兵ト云フコトハ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
短期現役小學校教員俸給費國庫負
擔法中改正法律案(政府提出)
兵役法中改正法律案(政府提出、貴
族院送付)

名實共ニ具現セラレナケレバナラヌ趨勢ニ

アルト考ヘルデアリマス、隨テ此ノ壯丁

ノ後繼者タルベキ青年ニ期待スルコトハ頗

ルデアリマスノデ、此ノ青年ノ素質ヲ向

上スル、特ニ青年ノ精神的訓練並ニ體力ノ

向上ト云フコトニ付テハ、其ノ必要ヲ痛切

ニ感じテ居ル次第デアリマス、又軍側ト致

シマシテ將來多數ノ兵員ヲ必要トシテ、之

ヲ國軍ニ編成スル場合ニ於テ、一方國軍ニ

直接必要ナル兵力ト其ノ多數ノ兵員ヲ召集

シタ場合ニ於テ、國家ニ必要ナル他ノ各種

ノ生産力ヲ維持擴充スルトカ云フヤウナ方

面ニソレト携ハル人員モ亦必要デアリマ

スルノデ、ソレ等ノ配當、詰リ必要ナル人

員資源ノ中デ、ソレヲ如何ニ配當スルカト

云フコトガ亦研究ヲ要スベキ問題デアリ、

研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ固

ヨリ何ト致シマシテモ此ノ兵員並ニサウ云

フ事業ニ從事シマスル所ノ人員資源ノ増加

モ、相對的ニ必要ナコトニナルデアリマ

シテ、ソレニ付テノ對策ヲ講ズル必要ガア

ルト云フコトヲ又痛切ニ感じテ居ル次第デ

アリマス

尙ホ是モ亦軍ノ内部ノコトゴザイマスガ、一體國軍トシテ精兵主義ヲ探ルベキカ、或ハ又多兵主義ヲ探ルベキカ、是亦重要ナル問題デアリマスガ、我ガ國軍ノ現況カラ考ヘマシテ、由來我ガ國軍ト致シマシテハ、精兵主義ヲ探ルト云フコトニ一貫シテ居リマスルコトハ、今日ニ於テモ其ノ根本趣旨ニ於テ變リガナイノデアリマスケレドモ、又一朝有事ノ際ニ於キマシテハ、多數ノ兵員ヲ要スルノデ、之ニ對スル準備モシテ置カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、モウ一ツハ此ノ精兵主義ノ見地カラ軍ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、國軍ト致シマシテ、精神的ニ優越デナケレバナラス、其ノ意味ニ於テ教育訓練ニ依ツテ益、精神的要素ヲ向上スルト云フ精兵主義ノ外ニ、又現代ノ戰鬪法カラ申シマシテ、機械力ヲ應用スル、或ハ又技術力、機械ノ精進ヲ増ス、或ハ其ノ技術力ノ優秀ヲ期スルト云フヤウナコトニ依ツテ、精銳ナル軍隊ヲ持ツト云フコトノ精兵主義ト云フコトモ亦考ヘナケレバナラス問題デアリマス、斯ノ如ク數ニ於テ又素質ニ於テ現在將來ヲ通ジテノ軍ノ考ヘテ居リマス所ハ、大體サウ云フ點デアアルノデアリマスガ、是等ノ點ハヤハリ國民教育ニ密接ナル關係

ヲ持ツテ居ルコトデアリマスノデ、軍ト致シマシテモ國民教育ト云フコトニ付テハ、十分御協力ヲシナケレバナラスコトト考ヘテ居リマス

○多田委員 將來戰ニ備フル爲ノ國軍保持

ノ大體ノ御話ヲ伺フコトガ出來マシテ、私満足致ス者デアリマスガ、唯之ヲ具體化シテ、實現化シテ行クト云フコトニ付テ、更ニ一段ノ御盡力ヲ御願致スノデアリマス、ソコデ私ノ伺ヒタイコトハ、今回提案サレマシタ兵役法ノ改正デアリマスガ、一體兵役ノ義務ト云フモノハ何ヲ出發點トシテ居ルノデアルカ、私共三大義務ノ最モ大切ナルモノトシテ兵役ノ義務ニ當ラナケレバナラナイ、又國民皆兵ノ實ヲ擧ゲテ行カナケレバナラナイ、國民ハ平等ニ此ノ兵役ニ服シテ行カナケレバナラナイ、斯様ニ考ヘテ居リマスケレドモ、陸軍大臣ハ如何ニ御考ニナラレテ居リマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○板垣國務大臣 御答申上ゲマスガ、名實

共ニ國民皆兵ノ實ヲ擧ゲルト云フコトニナラダラウト云フコトハ、先程申上ゲマシタ通りデアリマスガ、今ノ兵役法ノ精神カラ申シマシテ、服役年限トカ、サウ云フコトヲ定メマスニハ、ヤハリ國家百般ノコトヲ考慮致シマシテ、サウシテ服役年數或ハ年

齡ト云フヤウナコトモ其ノ考慮ノ下ニ決定

サレテ居ルモノト考ヘマス

○多田委員 昨日私ハ兵役法ト云フモノヲ

配付ヲ受ケマシテ、實ハ初メテ讀ンデ見タノデアリマスガ、之ヲ讀ンデ見マシテ、ドウモ私共ノ腑ニ落チヌ所ガアルノデアリマス、今回改正サレル點以外ニ、斯ウ云フ點ハ一體ドウデアアラウカト云フコトヲ、是ハ陸軍大臣デナクテ宜シウゴザイマス、政府委員ノ方ニ伺ツテ見タイト思フノデアリマスガ、先ツ兵役法ノ第十二條、十三條、十四條デアリマスガ、十二條ハ「現役兵ノ在營期間ハ軍事上妨ゲナキトキニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ六十日以内之ヲ短縮スルコトヲ得」、斯ウ規定サレテ居リマス、ソレカラ十三條ハ別ト致シマシテ、十四條ニ「現役兵ニシテ在營中左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ在營期間ハ之ヲ短縮スルコトヲ得一、青年學校ノ課程又ハ之ト同等以上ト認ムル課程ヲ修メタル者ニシテ品行方正學術勤務ノ成績優秀ナル者」、斯ウ云フコトヲ指定サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ規定ハドウ云フ譯デ一體書カレテ居ルノデアアルカト云フコトヲ先ツ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○中村政府委員 只今ノ御質疑ニ對シテ御

答ヲ申上ゲマス、全體的ニ見マシテ平等デナイヤウナ色々ナ規定ガ此處ニアルノデアリマシテ、只今御指摘ニナリマシタノハ、私ハ恐ラク其ノ第一段ダト思ヒマスガ、此ノ十二條、十三條、十四條ト云フヤウナ規定ハ、軍事上ノ必要ニ基キマシテ、斯ウ云フコトガ出來ルト云フコトヲ許サレテ居ルモノト解釋致シマス、然ラバ軍事上ノ必要トハドウ云フヤウナコトデアアルカト言ヘバ、全體的ニハ申上ゲルコトモ不可能デアリマセウガ、其ノ一例ヲ申シマスレバ——第十二條ノ如キハ是ハ六十日以内トナツテ居リマスガ、實際ハ四十日トナツテ居リマス、體力十七條ニ、現役又ハ補充兵、サウ云フ者ノ徵集ハ十二月一日カラ起算ラシテ居ルノデアリマス、是カラ直チニ起算ラシテ入營ヲサセレバ非常ニ都合ガ宜イノデゴザイマスガ、日本ハ御承知ノ通り非常ニ緯度ノ高サノ違フ占守カラ臺灣マデト云フヤウナ状態デゴザイマスノデ、サウ云フヤウナ氣候風土カラ申シマシテモ、又兵員ノ訓練ニ絕對必要ナ練兵場アタリノ關係カラ言ヒマシテモ、此ノ期ヲ縮メテ、例ヘバ現在ノ如ク四十日ヲ縮メテ一月十日ニ入ルト云フヤウナ、所謂軍事上ノ都合ニ依ルモノト考ヘテ居リマス、第十三條、第十四條

ニ於テモ、大體同一ノヤウナ理由ニ基クモ
ノト考ヘマス

○多田委員 ソコデ私ノ伺ヒタイコトハ、
此ノ兵役年限ハ二年ト規定サレテ居ル所ヘ
持ツテ來テ、今御話ノ四十日間ハ之ヲ短縮
スルコトガ出來ル、又十三條ノ方ノ輜重兵、
特務兵及ビ補助衛生兵、是等ノ兵種ニ對シ
テモ此ノ期間ヲ短縮スルコトガ出來ル、更
ニ又第十四條ノ如ク、品行方正學術勤務ノ
成績優秀ナル者ニ對シテモ短縮スルコトガ
出來ルト云フ規定ヲ設ケテ置クト云フコト
ハ、原則ノ二年ト云フモノニ對シテ何カ知
ラ兵役期間ト云フモノハ其ノ原則ヲ必ズシ
モ守ラスデモ宜シイノダト云フ示唆ヲ與ヘ
ルヤウニ見エルノデアリマス、ソコデ私ノ伺
ヒタイノハ、現在二年兵役ト云フコトニナ
ツテ居リマスケレドモ、二年兵役ト云フモ
ノハ之ヲ短縮スルコトガ可能ナリヤ否ヤ、
即チ教育ノ仕方ニ依ツテ、今日ノ青年ノ素
質ノ向上セル點ニ鑑ミテ、或ハ軍隊ノ兵器
ナドノ進歩モ勿論影響スル所デアリマスケ
レドモ、今申シマスヤウナ點ニ鑑ミテ、二
年兵役ヲ短縮スルコトガ出來ナイカドウカ
ト云フコトヲ大臣ニ伺ツテ見タイト思フノ
デアリマス

○板垣國務大臣 只今ノ御質問ノ二年兵役

ト云フモノハ、現在ニ於テハ維持シナケレ
バナラヌモノダト考ヘテ居リマス、是ハ一
方ニ於テハ御意見ノヤウナコトモアリマス
ガ、又一方ニ於テハ軍事ノ進歩ニ伴ヒマシ
テ戰鬪法モ著シク複雑トナリ、又色々機械
化サレルト云フ今日ニ於テハ、此ノ二年在
營ト云フコトハ必要ダト考ヘマス

○多田委員 二年兵役ガ絕對必要デアルト
云フ以上ハ、私ハ此ノ第十四條ノ規定ノ
如キハ、之ヲ削除シタラドウデアラウカ、
青年學校ヲ出ク優秀ナ者ハ服役期間ヲ短縮
スル、早く歸スト云フコトヨリカ、成
績優秀ナル者ニ對シテハ階級ヲ進メルトカ
或ハ適當ナ表彰ノ道ガアラウト思フ、優秀
ナル者ノミヲ歸スト云フヤリ方ヨリカ、外
ノ方法デ以テヤルコトガ全般ノ兵役令カラ
見テ必要ナコトト思ハレルノデアツテ、又
公平ナ原則カラ云ツテモ私ハソレガ宜シ
イト思フ、租稅ヲ納メル義務ニ致シマシテ
モ、是ハ問題ガ違ヒマスケレドモ、成績優
秀ナル租稅ヲ納メタ者ニ對シテ何モ安クス
ルト云フヤウナコトハナイ、兵役モヤハリ
サウシタ方ガ宜イト思フ、コンナ規定ヲ設
ケナイデ、外ノ方法デ表彰スルナリ、階級ヲ
上ゲルナリスルコトガ宜イデハナイカ、斯様
ニ信ズルノデアリマスガ、如何デアリマス

○板垣國務大臣 此ノ兵役法ノ今回ノ改正
ハ、現在ノ事變並ニ將來ノ國際情勢ニ鑑ミ
テ、差當リ改正ヲ要スル事項ニ付テ改正ヲ
セラレタモノデアリマス、今御話ニナツタ
ヤウナ事項ニ付テ之ヲ改正スルトカ云フヤ
ウナコトハ、モウ少シ將來十分ノ見透シヲ
付ケタ上ニ於テ是等ノ問題ハ研究スベキモ
ノデアル、斯ウ考ヘテ居リマス

○多田委員 只今ノ陸軍大臣ノ御答辯ニ依
リマス、兵役法ノ改正ハ是デ終リデハナ
イノダ、今回ノ改正ハ事變及ビ時勢ニ順應
シテノ改正デアツテ、將來又考究スルト云
フヤウニ承リマシタガ、ソレナラバ私大變
結構ダト思フノデアリマスガ、私素人デ能
ク分リマセヌガ、之ヲ昨日貫ツテ、昨夜讀
ンデ見テ、サウ云フ點ガドウモ澤山現ハレ
テ來テ不思議ニ思フ、先ヅ第二十條ヲ一ツ
申上ゲマスガ、「在營中本人ニ依ルニ非ザレ
バ家族ガ生活ヲ爲スコト能ハザルニ至リタ
ルトキハ現役ヲ免除ス」斯ウ書イテアル「但
シ故意ニ其ノ事故ヲ作爲シタルトキハ此ノ
限ニ在ラズ」ト書イテアリマスケレドモ、
是ナドハ、在營シテ居ル其ノ本人ガ居ナケ
レバ家族ガ生計ニ迷フヤウナ狀況デアレバ
現役ヲ免除スト云フノハ一體ドウ云フモノ
デアラウカ、餘リニ是ハ規定ガ、何ト申シ

マスカ、適當ナ言葉ニ苦シミマスガ、正鵠
ヲ得テ居ラヌト思ヒマス、本人ハ在營シテ
居ツテ、家族ガ生計スルコトガ出來ナイト
云フコトデアレバ國家デ之ヲ扶助スルコト
ガ宜シイ、是ハ勿論私モ施行令ヲ讀ンデ見
マストサウ云フコトハ書イテアリマス、軍
事扶助ヲヤル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
ト云フコトガ書イテアリマスケレドモ、併
シ斯ウ云フ規定ヲ此處ニ入レルト云フコト
ハ、是ハ國民精神ノ上ニ非常ナ影響ヲ與ヘ
ル、國家ノ義務ニ服シ、其ノ家族ハ當然國
家が養ツテ行ケバソレデ宜シイモノヲ、コ
ゴデ免除スルト云フ規定ハ一體ドウ云フモノ
デアラウカ、私ハ是ハ兵役法ノ根幹ヲ危ク
スル所ノ事柄デアルト考ヘル、一ツ特ニ陸
軍ニ於テハ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、
大臣如何デアリマセウカ

○中村政府委員 只今ノ御示シノ點ハ一面
カラ見マス、サウ云フ風ニ無論存ズルノ
デアリマスガ、私ガ先程前ノ條ニ付キマシ
テ、前ノ條ハ軍事ノ必要上ト云フヤウナコ
トガ主ニ盛ラレテアルト申シマシタガ、此
ノ第二十條ト云フモノハ「元々兵役法ハ、
其ノ國體並ニ建軍ノ本旨、サウ云フモノニ
根本ヲ置ク其ノ國獨特ノ法デナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、本條ノ如キハ正ニ

其ノ點ヲ非常ニ重視セラレマシテ、本人ガ居ラヌデモ政府ガ補助スレバ無論家族ハ食ツテ行ケマス、今日澤山ノ扶助家族モアルノデアリマスガ、此ノ本條ニ謳ツテ居リマスコトハ、唯其ノ家族ガ日々ノ糊口ヲ過シテ行クト云フヤウナ、簡單ナ困ルト云フヤウナ意味デナクテ、全ク本人ガナカツタラバ、所謂一家トシテノ面目保持ガ立ツテ行ケナイ、即チ我が重大ナル家族制度ニ波及スルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、國家ハ斯ノ如キ重大ナル例外ヲ許シタモノト、ソチラノ方ノ理由ニ依リマシテ許シタモノト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○多田委員 只今ノ國體論、家族論デハ私ハドウモ承服ガ出來ヌノデス、失禮デアリマスケレドモ、政府委員ノ答辯ハ私ニハ納得ガ出來ヌノデアリマス、日本ノ國體、日本ノ家族主義ト云フモノヲ私ハモウ少シ大キク考ヘテ見タイト思フノデス、家族ガ助カラヌカラ兵役ヲ免除スルノダト云フヤウナコトハ、是ハ日本ノ國體ニ反スルコトダト思フ、國家デチャント扶助ハ出來ル、而モ現在出征中ハドウデアアルカト申シマスルト、皆軍人ガアノ曠野ニ於テ奮戦ヲ致シテ居ル、サウシテ家族ノ困ツテ居ル者ハ國家デ之ヲ扶助シテ居ル、有ユル方法ヲ講ジテヤル、

サウシテ軍隊ハ何モ不滿ヲ懷カズシテ、國家ノ爲ニ、天皇陛下ノ爲ニ一身ヲ犠牲ニシテ居ルト云フ状態デアアル、ソレヲ平時ニ於テ斯ウ云フ規定ヲ設ケテ置クト云フコトガ尙ホ私ハ腑ニ落ちナイ、是ハ一ツ陸軍ニ於テハ特ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、斯ウシタコトハマダ澤山アルノデス、今ノハ第二十條デアリマシタケレドモ、第四十條ハドウデアアルカ「徴兵検査ヲ受ケタル者現役兵トシテ徵集セラルルニ因リ家族ガ生活ヲ爲スコト能ハザルニ至ルベキ確證アル場合ニ於テハ二年間徵集ヲ延期ス」トアル、是モ一體ドウデアラウカ、何モ二年間延期期スル必要ハナイ、ヤハリ國家デ家族ヲ養ツテヤレバソレデ宜シイ、サウシテ兵役ノ義務ニ服サレバ宜シイ、ソレカラ又先キノ第二項ハドウカト云フト「其ノ延期期間内ニ於テ其ノ事由止ムトキハ事由止ム年又ハ其ノ翌年ニ於テ徴兵検査ヲ行フ」、第三項ハ「第一項ノ規定ニ依リ徴兵検査ヲ延期セラレタル者其ノ延期期間ヲ過ギ尙其ノ事由止マザルトキハ之ヲ過ギタル年ノ翌年ニ於テ徴兵検査ヲ行フ」トアル、「但シ現役兵又ハ第一補充兵トシテ徵集スルコトナシ」トアル、徴兵検査ヲ受ケタ者デアツテ家族ノ困ツテ居ル者ハ、三年後ニ検査ヲ受ケテ、檢

査ハ受ケタハ宜シイケレドモ、現役兵又ハ第一補充兵トシテ徵集スルコトナシト云フヤウナ例外ヲ設ケルト云フコトハ一體ドウデアラウカ、是ガ私ハ腑ニ落ちナイ、コトナコトナドハ直チニ氣ノ付カナケレバナラヌコトデアツテ、今日私ハ、學生ノ猶豫期間ノ短縮、之ニ目ヲ著ケタコトヲ大シテ惡イトハ申シマセヌ、後デ是ハ又少シ御尋致シマスガ、而モ日本ノ教育上ニ重大ナル影響ヲ與ヘル所ノ五箇月短期兵役ト云フモノヲ廢止シタ、是モ私ハ惡イトハ申サヌ、惡イトハ申サヌケレドモ、斯ウ云フヤウナコトモヤハリ一様ニ一ツ改正ヲシテ考慮スルト云フコトデ初メテ徵兵令ノ改正ト云フモノハ意義ヲ成スモノデアルト私ハ考ヘル、ソコデ敢テ私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスケレドモ、斯様ナコトヲ段々ヤツテ行キマス、第四十二條ニ「徴兵適齡及其ノ前ヨリ帝國外ノ地ニ在ル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ徴兵検査ヲ延期ス」トアル、之ヲ勅令ノ方デ讀ンデ見マス、第百二條ニ滿洲ト關東州ニ行ツテ居ル者ハモウ延期シナイノダト書イテアル、併シ山東省或ハ浙江省ナド、此ノ支那ノ海岸方面ニ行ツテ居ル人々ニ對シテハ延期スルト云フコトニナツテ居ル、今日ノ時勢ニ於

テハモウ交通機關モ便利ニナツテ居ル、支那モ内地ト同ジヤウナ情勢ニ考ヘラレル時ニ於テハ、ヤハリ滿洲、關東州ト同ジヤウニ徵集ヲ延期シナイト云フ方法ヲ規定スルノガ、本當デハナカラウカト思フガ、此ノ點ニ付テモ何等考慮ヲサレテ居ラヌト云フ状態デアアル、ソレカラ第四十三條ニ「一時帝國内ニ歸還スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在留地ノ遠近ニ應ジ一年間一回滞在期間九十日ヲ超エザル場合ニ限り徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス」、ソレカラ又「前二項ノ規定ニ該當スル者ニシテ歸還後ノ滞在間ニ於テ疾病其ノ他避クベカラザル事故生ジ前二項ノ規定スル期間内ニ出發シ難キ者アルトキハ其ノ滞在期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ延長シタル期間徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス」、如何ニモドウモ寛大ナ處置ヲ執リ過ギテ居ル、一方ニ私ハ嚴格ダトハ申サヌケレドモ、徴兵ノ如キモノハ平等ニ國民何人ガ見テモ心服スルヤウナ、陛下ノ命令ニ依ツテ之ヲ實行スルト云フコトニシナケレバナラヌ管デアアルニモ拘ラズ、斯ウシタヤウナコトガアルト云フコトハ、私ハ洵ニ腑ニ落ちヌノデアアル、是等ニ付テモ特ニ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ第四十五條ハドウ

ハ受ケタハ宜シイケレドモ、現役兵又ハ第一補充兵トシテ徵集スルコトナシト云フヤウナ例外ヲ設ケルト云フコトハ一體ドウデアラウカ、是ガ私ハ腑ニ落ちナイ、コトナコトナドハ直チニ氣ノ付カナケレバナラヌコトデアツテ、今日私ハ、學生ノ猶豫期間ノ短縮、之ニ目ヲ著ケタコトヲ大シテ惡イトハ申シマセヌ、後デ是ハ又少シ御尋致シマスガ、而モ日本ノ教育上ニ重大ナル影響ヲ與ヘル所ノ五箇月短期兵役ト云フモノヲ廢止シタ、是モ私ハ惡イトハ申サヌ、惡イトハ申サヌケレドモ、斯ウ云フヤウナコトモヤハリ一様ニ一ツ改正ヲシテ考慮スルト云フコトデ初メテ徵兵令ノ改正ト云フモノハ意義ヲ成スモノデアルト私ハ考ヘル、ソコデ敢テ私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスケレドモ、斯様ナコトヲ段々ヤツテ行キマス、第四十二條ニ「徴兵適齡及其ノ前ヨリ帝國外ノ地ニ在ル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ徴兵検査ヲ延期ス」トアル、之ヲ勅令ノ方デ讀ンデ見マス、第百二條ニ滿洲ト關東州ニ行ツテ居ル者ハモウ延期シナイノダト書イテアル、併シ山東省或ハ浙江省ナド、此ノ支那ノ海岸方面ニ行ツテ居ル人々ニ對シテハ延期スルト云フコトニナツテ居ル、今日ノ時勢ニ於

テハモウ交通機關モ便利ニナツテ居ル、支那モ内地ト同ジヤウナ情勢ニ考ヘラレル時ニ於テハ、ヤハリ滿洲、關東州ト同ジヤウニ徵集ヲ延期シナイト云フ方法ヲ規定スルノガ、本當デハナカラウカト思フガ、此ノ點ニ付テモ何等考慮ヲサレテ居ラヌト云フ状態デアアル、ソレカラ第四十三條ニ「一時帝國内ニ歸還スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在留地ノ遠近ニ應ジ一年間一回滞在期間九十日ヲ超エザル場合ニ限り徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス」、ソレカラ又「前二項ノ規定ニ該當スル者ニシテ歸還後ノ滞在間ニ於テ疾病其ノ他避クベカラザル事故生ジ前二項ノ規定スル期間内ニ出發シ難キ者アルトキハ其ノ滞在期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ延長シタル期間徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス」、如何ニモドウモ寛大ナ處置ヲ執リ過ギテ居ル、一方ニ私ハ嚴格ダトハ申サヌケレドモ、徴兵ノ如キモノハ平等ニ國民何人ガ見テモ心服スルヤウナ、陛下ノ命令ニ依ツテ之ヲ實行スルト云フコトニシナケレバナラヌ管デアアルニモ拘ラズ、斯ウシタヤウナコトガアルト云フコトハ、私ハ洵ニ腑ニ落ちヌノデアアル、是等ニ付テモ特ニ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ第四十五條ハドウ

ハ受ケタハ宜シイケレドモ、現役兵又ハ第一補充兵トシテ徵集スルコトナシト云フヤウナ例外ヲ設ケルト云フコトハ一體ドウデアラウカ、是ガ私ハ腑ニ落ちナイ、コトナコトナドハ直チニ氣ノ付カナケレバナラヌコトデアツテ、今日私ハ、學生ノ猶豫期間ノ短縮、之ニ目ヲ著ケタコトヲ大シテ惡イトハ申シマセヌ、後デ是ハ又少シ御尋致シマスガ、而モ日本ノ教育上ニ重大ナル影響ヲ與ヘル所ノ五箇月短期兵役ト云フモノヲ廢止シタ、是モ私ハ惡イトハ申サヌ、惡イトハ申サヌケレドモ、斯ウ云フヤウナコトモヤハリ一様ニ一ツ改正ヲシテ考慮スルト云フコトデ初メテ徵兵令ノ改正ト云フモノハ意義ヲ成スモノデアルト私ハ考ヘル、ソコデ敢テ私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスケレドモ、斯様ナコトヲ段々ヤツテ行キマス、第四十二條ニ「徴兵適齡及其ノ前ヨリ帝國外ノ地ニ在ル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ徴兵検査ヲ延期ス」トアル、之ヲ勅令ノ方デ讀ンデ見マス、第百二條ニ滿洲ト關東州ニ行ツテ居ル者ハモウ延期シナイノダト書イテアル、併シ山東省或ハ浙江省ナド、此ノ支那ノ海岸方面ニ行ツテ居ル人々ニ對シテハ延期スルト云フコトニナツテ居ル、今日ノ時勢ニ於

デアルト申シマス「家族二人以上現役兵トシテ同時ニ在營スル爲家事上ノ支障ヲ生ズベキトキハ一人ノ在營間他ノ者ノ入營ヲ延期スルコトヲ得」斯ウ書イテアル、是モヤハリ家族ガ困ツテモ國デ補助シテ出ス方ガ宜イデヤナイカ、一人ダケ延期シテ一人ダケ入營セシメルト云フヤウナヤリ方モ、私ハ徵兵ノ本旨ニ反スルト云フヤウナ考ヲ抱カザルヲ得ナイ、更ニ又第六十一條ニ「勤務演習又ハ簡閱點呼ヲ免除スルコトヲ得」ドウ云フモノガ免除サレルカト云フト、「餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏又ハ官吏待遇者、市町村長、助役、收入役其ノ他之ニ準ズベキ職ニ在ル者、帝國議會、府縣會」云々斯ウ書イテアリマスケレドモ、是モ簡閱點呼ヲ免除スルト云フトニシナクテモ宜シイト思フ、簡閱點呼ヲ延期スル、ソレデ適當ダハナイカト思フ、更ニ又第六十三條ハドウデアアルカト云フト、「召集セラレタル者召集ニ因リ家族ガ生活ヲ爲スコト能ハザルノ確證アル場合ニ於テハ召集ヲ免除ス」是モ適當ニ考ヘル必要ガアラウト思ヒマス、最後ニ徵兵令ダケニ付テ申シマスト、罰則ノ如キモノモ第七十四條ハ少シ寬大デヤナイカト思フ、「兵役ヲ免ルル爲逃亡シ若ハ潛匿シ又ハ身體ヲ毀傷シ」云々、「三

年以下ノ徵役ニ處ス」是等モ少クトモ八年ヤ十年位ニシテモ宜シイト思フ、コンナ非國民ハ日本ニアリマスマイケレドモ、萬々一アツタ場合ト云フコトヲ豫想シテ之ヲ規定スル以上ハ、其ノ程度マデ擴大スル必要ガアラウト思フ、斯様ニ私ハ徵兵令ヲ讀ンデ感シタノデアリマスケレドモ、是等ノコトニ付テハ敢テ答辯ヲ要求スル譯デハアリマセス、冒頭ニ陸軍大臣ガ仰セラレテ居リマスカラ、特ニ御研究ヲ願ヒマシテ、素人ノ考ダケヲ皆様ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○中村政府委員 御答辯ヲ必要トシナイト云フ御話デゴザイマシタガ、一應申上ゲテ置イタ方ガ適切デアルト考ヘマスカラ、私カラ答辯トシテダハナクテモ宜シウゴザイマスカラ、申上ゲテ置キマス、只今御熱心ナ各條ノ御指摘ガアリ、且又國民皆兵ト云フ主義ニ最モ徹底ヲシタ御意見デ、實ニ其ノ點ハ敬服ヲシテ居ルノデゴザイマス、ソレ等ニ關シマシテ若干政府委員トシテ申上ゲテ見タイト思ヒマス

第一此ノ規定ハ總テ平時ノ規定デアリマスルノデ、一朝事有ル時ニ、妻ハ病床ニ臥シ子ハ飢ニ泣イタ所デ、斯ウ云フモノニ關係セズニ召シ出サレテ行ク、又サウ云フヤウニ仕向ケテ居ルコトハ御御承知ノ通りデゴザイマス、殊ニ先程御指摘ニナリマシタ條ノ如キハ、平時在營中ノ出來事デアルトカ、或ハ臨時的ノ召集ノコトデアルトカ、單ニ其ノ一時ノコトアツテ、而シテ關係スル所ハ實ニ我が國體、家族制度、其ノ他ニ立脚ヲシテ、人トシテ、國民トシテ相當顧慮ヲシテ上ゲテ宜イコトデアアルノデハナイカト云フヤウナコトニ私ハ考ヘテ居リマス、勿論御指摘ノ中ニハ、私共モ是ハ然ルベキ機會ニ大イニ研究ヲシ、先程大臣ノ御辯明ニナツタ如ク、必要ガアレバヤハリ改正セネバナラヌカト思フヤウナ點モアルノデゴザイマス、併シナガラ今御舉ゲニナリマシタ條總テガ、是アルガ爲ニ工合ガ惡イト云フヤウニモ思ハレナイノデゴザイマス、殊ニ少イヤウデ可成アル例ハ、子一人親一人ト云フノガ、ヤハリ平時召シ出サレルノデアリマス、ソレヲ軍事扶助ノ特點ガアル、或ハ國家ガ當然扶ケベキダト云ウテ、其ノ親一人子一人ノ其ノ壯丁ヲ軍隊ガ取ツテ、之ヲ教育スルノガ、果シテ必任義務ノ本旨ニ副フモノデアアルカ、サウ云フ者ハ只今御指摘ニナツタヤウナ特點ヲ與ヘテアルノガ、必任義務ノ本旨ニ缺ケル所ガアルトハ、何人ガ之ヲ言フ者ガアルカト云フヤウナ氣モスルノデゴザイマス、無

論皆兵ト云フ御趣旨ニハ私共ハモウ一言モナイノデゴザイマス、ソレガ出來タナラバ結構デアリマスガ、併シナガラ物ニハヤハリ相當ニ色々ナ關係モ複雑シテ居ルノデアリマスカラ、壯丁ガ佛蘭西ノ如ク、非常ナ率マデ取ラネバナラナイヤウナ國柄ト、程度ハ段々下ツテモ、我國ノ如キハ、餘人ヲ以テ澤山代ヘ得ルノデアリマスカラ、今ノヤウナ親一人子一人ト云フヤウナ者ノ爲ニ他人ガ代ツテ入ツタ所デ、是ガ御指摘ニナツタヤウナ害ガアルト考ヘルコトハ、ドンナモノデアアラウカトモ考ヘラレルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ點モ多分ニ含マレテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ御指摘ニナツタ點ニ於テハ、私共ハモウ著手シヨウト思ツテ居ル事項モアルノデゴザイマス、併シソレハ慎重審議ヲ要スベキモノデアリマスノデ、今回ノ提案ニハ載ツテ居リマセヌガ、十分御趣旨ノアル所ハ私共モ全ク撥ヲ一ニスルノデアリマス、段々時勢ニモ順應致シマシテ、立派ニ兵役法ガ一年々々ト形造ラレルノデハナイカト思フノデアリマス、甚ダ烏滸ガマシイヤウデゴザイマスガ、一言申上ゲマス

○多田委員 別ニ答辯ヲ要求シナカッタノデアリマスケレドモ、進ンデ政府委員ノ方

カラ御話ガアリマシタ、成程親一人子一人ト云フ場合モアリマセウ、其處へ吾々が國家トシテ涙スルト云フコトモ必要デアリマセウ、併シ此ノ規定ハ其處マデ行カヌデモ兎ニ角免除スルト云フコトニナツテ居ルト私ハ思ヒマス、若シ又假ニ親一人子一人デアツタトシテモ、日本ノ軍人ハ一體ドウデアラウカ、先程私申シマシタヤウニ進ンデ此ノ兵役義務ニ服スルノデアル、進ンデ陛下ノ爲メ、國家ノ爲ニ一身ヲ抛ツノデアアル、其處ニ特色ガアル、外國人ト違フノデス、日本ノ人々ト云フモノハ御同様サウ云フ教育ヲ受ケテ、サウ云フ氣持デ來テ居ル、サウ云フ人ハ縦令子ガアツテモ、大義親ヲ滅スデ、自分ノ子供ナド構ツテ居ラレナイ、サウシテ義務ニ服スルト云フコトガ吾々最モ稱揚スベキ事柄デアル、其ノ建前カラ論ジテ居ルノデアツテ、アナタトハ根本ガ違ツテ居ル、私ガ軍人デ、アナタガ私ノヤウナ氣ガスル、少シ考ガ違ツテ居ルト思ヒマス、モウ少シ國家的見地ニ立脚シテ、人情モ或ル程度マデハ必要デアリマスケレドモ、サウ云フコトニ囚ハレテ答辯スルト云フヤウ、ナコトデアツテハ、私承服出來ヌノデアリマスカラ、特ニ此ノ點ハ御考究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中村政府委員 チョットモ變ツテ居ラヌヤウニ思フノデゴザイマス、兎ニ角日本ノ國民ハ如何ナル者デモ進ンデ兵役ニ服スル、親一人子一人デアラウトモ、其ノ子ハ進ンデ兵役ニ服シタイト云フコトヲ皆願ツテ居リマス、又親モ、死ンデモ宜イカラオ前行ツテ服セヨト云フノガ、是ハモウ日本國民ガ三千年來傳承シテ來タコトデゴザイマシテ、吾々ノ血液ノ中ニ充滿シテ居ル譯デアリマス、壯丁トシテハ只今御指摘ニナツタ通りノ心掛ガアルベキデアリマス、親トシテハ當然其ノ心掛ガアルベキデアリマス、是ガ日本國民デアリマス、サウダカラ國家ハ斯ウセヨト云フコトガ至當デアルカドウデアルカ、壯丁トシテハサウデアリマセウ、親トシテハサウデアリマセウ、又一族トシテ、一郷トシテハサウデアリマセウガ、併シ國家ハ大所高所カラ之ヲ眺メマシテ、大イニ考慮スベキモノデハナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、若シ是ガ間違ナラバ私ハ訂正ヲ致シマス

○多田委員 根本ガ私ト同ジデアルト云フコトデアリマスレバ、敢テ是レ以上申シマセヌ、餘リ議論バカリシテ居リマシテモ進行シマセヌカラ止メテ置キマス、併シ此處ニ御列席ノ皆様ニ於カレマシテモ特ニ此ノ點ニ付テ御考願ヒタイト云フノガ私ノ考デアリマス

ソコデ此ノ場合特ニ伺ツテ置キマスガ、學生ニ對スル徵兵猶豫期間ノ短縮ト云フ問題デアリマス、陸軍カラ配ラレマシタ表ヲ見マスト、今回改正サレマス年齢デハ、マダ大學ヲ卒業シ得ラレナイ者ガ約千人以上アルノデアリマス、貴族院ニ於テハ何カ經過規程ヲ設ケテ救済スルヤウナ途ハナカラウカト云フコトガ可ナリ論議サレタヤウデアリマス、ソレカラ又是ハ文部省方面ニモ伺ハナケレバナラスコトデアリマスガ、陸軍關係ダケニ一寸伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、中學校ヲ卒業スル、ソレカラ高等學校ニ入り、大學ヲ卒業スルノニハ、極メテ秀才デアツテ、順調ニ行ツテ、落第モ何モシナイデ行ツテ先ヅ二十四ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、一朝今ノヤウナ教育界ノ情勢デ、試験地獄ガ叫バレテ居ル時代デ、一寸躓ク、病氣ニデモナルトモウ學校ヲ卒業シナイ前ニ徵兵デ二年間服役シナケレバナラナイト云フコトニナル、サウシマスレバ其ノ學生ト云フモノハ殆ド十幾年ニ互ツテ習得致シタ學業ヲ全ク放抛スルカノ如キ狀況ニナツテ來ルト云フコトハ、是ハ本人ノ身ニ取ツテモ、又國家社會トシテモ

悲シムベキ現象ト申サナケレバナリマセヌ、之ニ對シテ今政府委員カラ續、御答辯ノアツタヤウニ、一片國民ニ對シテ涙ヲ注グト云フ御氣持ガアリマスナラバ、何ガ故ニ學生ニ對シテモ一滴ノ涙ヲ流サヌノデアルカ、何ゾ學生ニ對シテノミ酷ナルヤト云フコトヲ私申上ゲタイノデアアル、此ノ點ニ對シテ陸軍當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○中村政府委員 ドウモ非常ニ定尺ガ物差ガ、私ノ頭ニハ違ツテ入ルモノデスカラ、甚ダ答辯ガ適切デナイ點モアルカト思ヒマスガ、其ノ點ハ説明員ヲシテ説明セシムルコトニ前提ヲシテ私一言申上ゲマス、第一申上ゲタイノハ、只今色々議論ヲ致シマシタケレドモ、特例トシマシテ親一人、子一人ニ對スル所ノ國家ノ特典ニ私涙アリト御指摘ニナラレタ、私共其ノ點ニハ涙ガアルノデアリマス、然ラバ何故學生ノ此ノ數ニ對シテ、此ノ狀況ニ於テ涙ナキヤ、斯ウ云フ御質疑デアリマス、此ノ學生ノ在學徵收猶豫ニ對シテ今日ノ改正ガ、出來ルダケ只今御指摘ノヤウナ點ヲ考慮シテ、是ナラバ私共ハ不足ハナイ、而モ十分此ノ程度デ以テ可ナリト信ジテ居ル、確信ヲ以テ提案シタノデゴザイマシテ、之ニ對スル涙

ト先程申上ゲマシタ所謂兵役法ノ特典ノ涙
トヲ御比較ニナルト云フコトハ私ニハ十
分分リマセヌカラ其ノ點ハ申上ゲルコ
トガ出來マセヌノデ差控ヘマシテ、現在
提出シテ御協賛ヲ願フテ居ル在學徵集猶豫
ノ規定ガ陸軍カラ見テドノ位合理的ニ、又
出來ルダケ學生ノ爲ニ圖ツテ居ルカ、即チ
言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、涙ヲ以テ圖ツテ居ル
カト云フコトヲ御諒承願ヒタイ爲ニ、専門
ノ説明員ヲシテ説明致サセマス

○山本委員長 一寸御發言前ニ申上ゲマス、

今日ハ大臣ニ對スル質問ヲ——直グ又アト
デ文部大臣モ見エマスガ、今日ハ大臣ニ對
スル質問ヲ集メテヤツテ戴イテ、其ノ方ヲ
進メテ戴イテ、其ノ他ノ問題ハ又別ノ機會
ニ御願シタイト云フ方針デ居リマスカラ、
質問者モ答辯スル方モ其ノ御積リデ願ヒマ
ス

○多田委員 私人兵役法ノ改正ノコトニ付

テハ大臣ガ御出デニナル方ガ宜イト思ヒマ
シタガ、一寸他ノ方ヘ外レタヤウナ形ニナ
ツテ、大臣ガ必ズシモ答辯シナクテモ宜シ
イ方面ニ互リマシタケレドモ、サウ云フ時
間ノ御都合ガアリマシラバ、今ノ中村政
府委員ノ答辯ノコトハ後ヘ保留シテ戴イテ、
大臣ニ對スル質問ヲ簡單ニ進メルコトニシ

テ宜シウゴザイマスカ

○山本委員長 貴族院ノ豫算總會カラ大臣

ヲ迎ヘニ來テ居リマスカラ出來ルダケ簡單
ニ願ヒマス

○多田委員 承知シマシタ、今回ノ事變ニ

鑑ミテ豫備後備年限ヲ延長スル意思ハナイ
カドウカ、諸外國ノ例ヲ見ルト現役ヲ入レ
テ日本ノ十七年四箇月ト云フヤウナ年限デ
ハナクテ、大抵二十年位ニナツテ居ルヤウ
デアリマス、而モ將來ハ益、大量ノ軍隊ヲ
必要トスルデアラウト思ヒマスカラ、私特
ニ此ノ感ヲ深ウスルノデアリマスケレドモ、
陸軍大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、伺ヒ
タイノデアリマス

○板垣國務大臣 只今豫後備兵役年限ヲ延

長スルト云フヤウナ考ハコザイマセヌ、是
ハ豫後備即チ兵役ノ終結年限ト云フモノハ、
此ノ兵役法ノ本質カラ申シマシテ、十分ニ
他ノ國家百般ノコトニ關係ヲ持チマスノデ、
ソレ等ヲ考慮シテ、サウシテ此ノ終結方何
時マデ終ル、斯ウ云フ風ニ決メテアル譯
デアリマス、隨テサウ云フ重大ナ關係ヲ持
チマス關係カラ、成ベク之ヲ延バスト云フ
ヤウナコトハ今考ヘテ居リマセヌ、併シ他
面又軍ソレ自體トシマシテハ、年齢ト云フ
コトモ考ヘナケレバナラス、其ノ素質上ヤ

ハリ年ノ若イ者ガ宜シイ、斯ウ云フ關係モア
リマスノデ、隨テ今回ノ改正ニ於キマシテ

モ、補充兵役ト云フモノヲ採用スルト云フ
コトニ付テ考慮ヲ拂ヒ、又現ニ今回ノ事變
ニ於テ此ノ補充兵役ニ服シ、其ノ教育ヲ受
ケ、戰地ニ於テ又其ノ體驗ヲ得タ者ハ、是
ハ將來ノ兵員トシテ現在ノ現役ニ劣ラナイ、
相當ナ價值ノアルモノト斯ウ考ヘテ居ル次
第デアリマス、旁、豫後備ヲ増スト云フコト
ハ今考ヘテ居ナイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○多田委員 今回ノ改正ノ本旨トスル所ハ、

其ノ短期現役制ヲ廢スル主要ナル眼目ハ、
教員ヲシテ軍隊生活ヲサセル、サウシテ國
民教育ニ裨益スル所ヲ多カラシメルヤウニ
スル、一朝有事ノ場合ニ當ツテハ從軍ヲセ
シメテ、小學校教員ガ其ノ體驗ヲ以テ小國
民ニ魂マデ打込ンデ行クト云フヤウナコト
ニ付テ、非常ニ效果ガアラウト私共ハ思ウ
テ居ルノデアリマス、日本ノ小學校教員ハ
現在約三割ガ婦人デアラウト思ヒマス、是等
婦人ノ教員ノ數ト云フモノハ相當増加シテ
行クモノト見ナケレバナリマセヌ、然ラバ
今改正サレマシタ趣旨ヲ小學校教員ニ打込
ムニ致シマシテモ、男ノ教員ノミニ止メズ
シテ、女ノ教員ニマデ其ノ精神ヲ打込ムコ
トガ必要デアルト考ヘルノデアリマシテ、ソ

レニ付テハ或ル期間ヲ限ツテ女教員ヲ入營
セシムルコトハ一體ドウカト云フコトヲ一ツ

大臣ニ伺ツテ見タイ(笑聲)是ハ御笑ヒニナリ
マスケレドモ、中々重要ナ問題デアリマス
ソレカラ今一ツハ、先程申シマシタ趣
旨ニ依ツテ、戰地ニ於テ小學校教員ニ體
得セシメル、是ハ結構デアリマスガ、其ノ
趣意ナラバ、今日小學校教員ノ一ツ戰地ニ
送ツテ、サウシテ一面ニ於テ皇軍ヲ慰問シ、
一面ニ於テ戰地ノ實況ト云フモノヲ本當ニ
體得セシメテ、小學校教育上ニ資スル御考ナ
キヤ否ヤ、是ハ文部大臣ニ關係アルコトデ
アリマセウケレドモ、陸軍トシテ一體サウ
云フ御考ヲ御持チニナリ得ザルヤ否ヤ伺
ツテ置キタイノデアリマス

○板垣國務大臣 此ノ小學校教員タル女教

員ニ軍事ノ必要ナル知識、又或ル教育ヲ施
スト云フコトニ付テハ、是ハ大變結構ナコ
トト思ヒマスシ、ソレガ爲ニ軍ニ於テ御便
宜ヲ圖ルト云フコトモ、是ハ敢テ辭セナイ
譯デアリマス、併シ只今仰セノヤウニ強
制的ニ軍事教練ヲ施ストカ、又或ハ女子師
範學校等ニ配屬將校ヲ配スルトカ云フヤウ
ナコトハ今考ヘテ居リマセヌソレカラ小學
校ノ教員ヲ戰地ニ派遣スル、是ハ此ノ學校
教育ニ支障ナキ限り結構ナコトト思ヒマス

ガ、此ノ事ハマダ文部大臣トモ御話シタコトモアリマセヌノデ、私カラ直ニ御答スル譯ニ參リマセヌ

○多田委員 日本ノ將來ノ國運ヲ保持シテ行クト云フコトヲ考ヘテ行キマス、私ハヤハリ小學校ノ教員ニ對シテ軍事訓練ヲ施シテ行ク時代ガ來ナケレバナラヌ筈ダと思フ、私ハ一體軍隊ハ軍隊ノミノ軍隊ニアラズ、家庭軍隊、社會軍隊、國家軍隊ト云フヤウニ、是カラハ其ノ氣持デ以テ行カナケレバナラヌト考ヘマスカラ、特ニサウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、私ハサウ云フ時期ノ到來スルコトヲ信ジテ居ルノデアリマス

更ニ又徴兵検査ノ方法デアリマスガ、此ノ間ノ本會議ニ於テモ大臣カラ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ下検査ヲシロト云フ論デアリマスガ、下検査ニ付テハ中村政府委員モ昨日此處デ御説明ガアツタヤウデアリマシテ、下検査ヲヤツテモ宜イト云フ御話デアリマシタガ、陸軍大臣ハ此ノ點ニ付テハ厚生省デヤラウト云フヤウナ御話デアリマシタガ、一體陸軍省トシテ之ヲヤルコトハドウカト云フコトヲ念ノ爲ニ伺ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラ検査ノ方法ヲ讀ンデ見マス、肉體ダケニ

力ヲ置イテ居ルノデアリマス、即チ身長トカ胸圍トカ、眼方惡イトカ、内臓ガドウトカ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、戰爭ニハ勿論其ノ軍人ノ性格、精神ト云フモノガ非常ニ必要ニナツテ來マシテ、機敏デアル、勇敢デアル、克己心ガ強い、忍耐力ガ強イト云フコトガ必要ナ條件ニナツテ居リマスカラ、徴兵検査ヲスル場合ニ當ツテ獨リ肉體的ニノミ止マラズ、精神的方面ヲモ其ノ標準ノ中ニ入レル必要ガアルと思フガ、陸軍大臣ハドウ御考ニナリマスカ

○板垣國務大臣 小學校教員ハ今回ノ短期現役制ノ撤廢ニ依リマシテ小學校教員ト雖モ率先シテ第一線ニ出ル、斯ウ云フ趣旨デ改正セラレテ居ルト云フコト、今教育ノ爲ニ小學校教員ヲ戰地ニ派遣シタラドウカト云フコトト多少混同シタヤウデアリマスガ、小學校教員ニハ短期五箇月ノ教育バカリデハナク、十分教育ヲ受ケタ者ヲ小學校教員トシテ採用スル、又其ノ小學校教員ハ小學校教員デアルカラ第一線ニ出ヌト云フノデハナイ、小學校教員モ一朝有事ノ際ニハ陣頭ニ出ル、斯ウ云フノガ今度ノ改正ノ趣旨デアリマス

第二ノ問題ハ豫備検査ノコトト伺フノデアリマスガ、只今ノ徴兵検査ヲ更ニ其ノ前ノ、例ヘバ十九歳トカ十八歳トカ各年次ニ互ツテ徴兵検査ト同ジヤウナコトヲ繰返スト云フコトハ、研究モセラレタコトデアリマスケレドモ、實際問題トシテハ中々不可能ノヤウデアリマス、併シ又一方國民體位ノ向上ト云フ厚生省方面ノ御擔任ノ方カラ言ヘバ、其ノ年々ノ體質ノ向上ヲ圖リ、或ハ統計トカ云フコトガ國家トシテ非常ニ必要ナコトデアアル、斯ウ云フコトカラ、此ノ厚生省デ考ヘラレテ居ル所ノ豫備検査トカ云フモノヲ、吾々ハ陸軍トシテ其ノ徴兵検査ニ於テ、其ノ結果ヲ十分ニ利用スル、斯ウ云フ方ガ得策デアアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

徴兵検査ニ於テ精神方面ノコトヲ疎カニシテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、統計表等ニ出テ居ルモノハ、身長トカ或ハ體重、胸圍等デアリマスケレドモ、此ノ身體検査ニ於キマシテハ、其ノ方モソレノ加味シテ検査ヲヤツテ居ル次第デアリマス、但シ一言申シ添ヘテ置キマスコトハ、色々術語モアルカモ知レマセヌガ、精神病者デナイ限りハ平等ニ、詰リ普通ノ壯丁トシテ取扱ツテ、其ノ特別ノ精神状態ノ者ハ餘リ發表セヌ方宜シイト云フノデ發表シテ居ラヌ譯デアリマスガ、實際採用スル場合ニハ、勿論精神ノ状態ヲモ考査ノ方法ナリ色々ナ方法ニ依ツテ實行シテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○多田委員 分リマシタ、次ニ今回ノ戰爭ニ當ツテ、下級將校ノ増加ト云フコトガ最も必要デハナイカト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ之ニ對スル對策、及ビ士官學校トカ陸軍大學校ノ如キモノヲ一ツ支那及ビ滿洲方面ニ建設ヲシテ、彼處デ教育スルト云フヤウナ方法ヲ執ル御考ヘナイカドウカ、將校アタリノ參謀演習ト申シマスカ、サウシタモノヲアチラデ相當ヤツテ居ルヤウニ伺ツテ居リマスケレドモ、アチラニ學校ヲ作ツテ、彼處デ教育シテ、彼處ニ育ツ、ソレガ將來大陸ニ伸ズル我ガ日本ノ國運トシテハ最も必要ナコトデアリマスカ、殊ニ軍ノ中堅トナル人々ヲ彼處デ養成スルコトガ宜クハナイカト思ヒマシテ、私ハ敢テ此ノ質問ヲスルノデアリマスガ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○板垣國務大臣 第一ノ下級將校ノ補充ノ問題デアリマスガ、是ハ今回ノ事變ニ際シテモ痛切ニ必要ヲ感ジタ問題デアリマシテ、豫科士官學校ノ如キモノ、一昨年末以來其ノ規模、募集人員ニ於テモ飛躍的ニ増加シテ

居ル現況デアリマス、又一方在郷者出身豫
後備ノ立派ナ幹部ヲ得ルト云フコトガ是亦
必要ナコトデアリマスノデ、豫備士官學校
ノ制度ヲ設ケマシテ、相當人員ヲ茲ニ召集
致シテ、現ニ既ニ其處ヲ卒業シテ前線ニ出
動シテソレノ勤務ニ就イテ居ル者ガ澤山
アリマシテ、良好ナル效果ヲ擧ゲテ居リマ
ス、

モウ一ツ大陸ニ教育機關ヲ新設セシメル
問題デアリマスガ、實際戰場トナルベキ其
ノ舞臺ニ於テ教育ヲ實施スルト云フコトハ
洵ニ必要ナコトデアリマシテ、御意見ノ通
リニ出來得ル限り致シタイ、斯ウ考ヘテ居
ル次第デアリマス、ソコデ一部ハ現ニ下士
官ノ教育デアルトカ、或ハ又幹部ヲ集合シ
テ教育スルコトデアルトカ、是ハ滿洲ニ於
テハ既ニ實行シテ居リマスシ、又支那ニ於
テモ將來ソレヲ實行シタイト考ヘテ居リマ
ス、唯陸軍士官學校、陸軍大學校ヲ今大陸
ニ移スカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ現
在ト致シマシテハ内地ニ置ク考デアリマス
○多田委員 モウ一ツ伺ヒタイコトハ、豫備
ノ將校、特ニ將官、是等ノ人々ヲ一ツ復活
セシメテ、今回ノ事變ノ如キ時ニハウント働
カシテ見タラドウカラウカト云フコトヲ素
人的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、豫備ノ將

官ノ中ニモ、私ノ見テ居ル所デハ相當ナ人
ガアルヤウデアリマス、マダ心身健全ニシ
テ三軍ヲ叱咤スルニ十分ナル人々ガアル、
又其ノ力量ニ於テモ世間承服スルニ足ル人
ガ相當アルト思ヒマス、斯ウ云フ人々ヲ一
ツ戦線ニ送ツテ働カシムルト云フコトハ、
一面ニ於テ、政府ニ於テ既ニ強調致シテ居
リ、吾々モ主張致シテ居ル國民精神總動員
ノ爲ニモ必要ナルコトト思ヒマスガ、此ノ
點ニ對スル陸軍大臣ノ御意見ハ如何デアリ
マセウカ

○板垣國務大臣 一旦豫後備ニ入ツタ將官
ヲ現役ニ復歸セシムルト云フコトハ考ヘテ居
リマセヌ、但シ今回ノ事變ニ於キマシテハ、
有能ナル將官ヲ召集致シマシテ、第一線ニ
於テモ又内地ニ於テモ、相當數活躍セシメ
テアルト云フ現況デアリマス、是ハ御承知
ノコトト思ヒマス

○多田委員 最後ニ一ツ伺ヒタイコトハ、
私共國民代表トシテ屢、聽カレル事柄デアリ
マス、此ノ事柄ハ此ノ席デ御話下サルコト
ガ惡イト云フコトデアリマスレバ、適當ナ
機會ニ伺ツテモ宜ジイノデアリマス、ソレ
ハ軍隊ノ歸還ノ事柄デアリマスガ、一昨年
ノ事變勃發當時カラアチラへ出征シタ兵隊
ガ、モウ既ニ歸ツテ居ル者モ可ナリアル

コトハ御承知ノ通りデアリマシテ、而モ
其ノ時期モバラ／＼ニナツテ居リマス、
現役ヲコチラデ終了シ掛ツテ居ツタ者ガ向
フヘ參リマシテ、モウ一年半以上モ經ツテ
居リ、三年、四年近クモ勤務ヲシテ居ル者
モマダ相當アルヤウデアリマス、早く歸ル
人モアルシ、是ハ一體ドウ云フ譯ノモノダ
ラウカ、ソレカラ陸軍ノ將官ナドデ、司令
官ナドガ交替サレルト云フコトガ時折新聞
等ニ見エテ居リマシテ、兵隊ハ替ルノモア
ルガ、餘リ替ラヌヤウダガ、上ノ方ハ時々
替ル、一體アレハドシナ譯デアラウカト云
フコトヲ私共屢、聞クノデアリマス、ソレニ
對シテ私共答辯スル何モノモナイヤウナ狀
況デアリマスケレドモ、此ノ點御差支ガア
リマセヌデシタラ御伺シタイト思ヒマス、
若シ御差支ガアルト云フコトデアレバ、伺
ハヌデモ宜シウゴザイマス

○板垣國務大臣 此ノ問題ハ此ノ前豫算總
會デモドナタカノ御質問ニ御答シタカト思
ヒマスガ、將校ノ方ニ於キマシテハ、戰時
ト雖モ段々昇進モスル者アリマス、轉補スル
者モアリマス、其ノ補充モ行ハナケレバナ
ラス、又滿洲カラ戰地ニ出向ク者モアリマ
ス、ソレ等ノ者デ内地ヘ戻ル者ガ相當アル
ノデアリマス、是ハ相當新聞ニモ出マスノ

デ、ソレノミガ世人ノ注目ヲ惹ク、斯ウ云
フコトニナツテ居ルノグラウト思ヒマスガ、
戰時ト雖モ斯ノ如ク今申上ゲマシタヤウナ
理由デ、將校ノ轉補ヲ見ルト云フコトハ、
是ハ或ル程度マデ已ムヲ得ナイ次第デアリ
マス、尙ホ下士官以下ノ交代ニ付キマシテ
ハ、是ハ別個ノ見地カラ、成ベク長ク戰地
ニ居ル者、又年ヲ取ツタ人カラ逐次ニ交代
ヲシテ其ノ代リ若イ新進氣鋭ノ者ヲ教育シテ
送ツテ、益、第一線ノ力ヲ増強維持シヨウ、
斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマ
シテ、ソレヲ逐次實行シツツアル、今日マ
デ歸還致シマシタ下士官以下ノ兵モ、相當
數ニ上ツテ居ル譯デアリマス、是ハ餘リ新
聞等ニハ出マセヌノデ、自然其ノ邊ハ氣ガ
御付キニナラス、斯ウ云フコトグラウト思
フノデアリマス、併シ又是ハ第一線ノ勤務、
或ハ其ノ場所トカ部隊トカ、色々軍事作戰
ノ必要カラ、今交代ガ出來ル部隊ト、出來
ヌ部隊トアル譯デアリマスカラ、今逐次年
取ツタ人、或ハ長ク居ル人ヲ還スコトガ原
則デアリマシテモ、サウ云フ作戰上ノ都合
ニ依ツテ、全部ガ全部平均ト云フ譯ニハ參
ラナイト云フ事情モアリマス

○多田委員 陸軍大臣ニ對スル私ノ質問ハ、
之ヲ以テ終リマス

○山本委員長 多田君ハ文部大臣ニ御質問
デスカ

○多田委員 サウデゴザイマス

○山本委員長 文部大臣ハ三時半マデオ居
デナリマス

○多田委員 今回兵役法ノ改正ニ件ヒマシ
テ、短期現役制ガ廢止サレルノデアリマス

○多田委員 此ノ結果師範學校ノ入學志望者ト云フ
モノハ、相當減少シテ來ルト思ヒマスケレ
ドモ、當局ニ於カレテハ如何ニ考ヘテ居ラ
レマセウカ、此處ニ配付サレタ資料カラ見
マシテモ、昭和九年ニハ四万三千二百十八
人、一部、二部、専攻科ヲ通ジテデアリマ
ス、ソレガ十年ニハ三万七千四百九十二人
ニナリ、昨年ハ三万四百七十八人ト減少致
シテ居リマス、恐ラクハ十四年ニナリマス
ト更ニ減少スルコトグラウト思ヒマス、私
ノ調べタ所デモ東京府下ノ師範學校ナドデ
ハ非常ニ減ツテ居リマス、敢テ私ハ此處デ
數字ヲ申シマセヌガ、大泉師範學校、即チ
二部制専門ノ師範學校邊リデモ、相當ノ減
少デアリマス、是ハ勿論軍事兵役ノ關係モ
アリマセウケレドモ、若シ此ノ制度ヲ實施
スルト云フコトデアリマスレバ、之ニ拍車
ヲ掛ケテ、十四年十五年度ニナリマス、ト
更ニウント減ツテ行クノデハナイカ、ト申

シマスノハ、マダ短期現役制ノ廢止ト云フ
モノガ、地方デハ分ツテ居リマセヌ、私郷
里ニ歸リマシテ小學校ノ先生、校長アタリ
ニ聽イテモ分ラナイ、隨テサウ酷イ影響ハ
受ケマイトハ思ヒマスケレドモ、可ナリ減
ルノデハナイカト云フ考ヲ持チマスガ、如
何ニ御考ニナリマスカ

○荒本國務大臣 現在ノ民心ノ動向カラ考
ヘマスルト、或ハ左様ナ現象ガ起ルノデハ
ナイカト、私モ共ニ憂慮スル一人デアリマ
ス、併シ根本カラ考ヘマシテ、事實ハ事實
トシマシテサウ云フコトヲ憂慮セラレマス
ルケレドモ、若シソレガ是認セラレルコト
デアルト云フコトニナレバ、是ハ由々シキ
大事デアリマス、國民教育ニ任ジ、國民皆
兵ノ我國ノ制度、殊ニ列國ト變ツテ、生レ
ナガラニシテ、假令兵役ノ義務ガアルナシ
ニ拘ラズ、一身ヲ捧ゲテ國家防護ノ上ニ立
タネバナラス我國ノ思想ト致シマシテ、五
箇月ガ二年ノ兵役ニナツタト云フコトデ、
其ノ爲ニ減少スルト云フヤウナコトデアッ
テハ、國民教育ヲ付記スルニ足ラナイモノ
デアル、斯ウ云フ斷定ガ一方ニ於テ下サレ
ル、之ニ對シテ特別ニ物心兩方面カラシテ、
此ノ國民教育ニ任ズベキ者ノ重大性ト、精
神上ノ天職ニ甘ンズルト云フヤウナコトニ

付テ、將來急速ニ其ノ施設ヲ考ヘマシテ、若
シサウ云フヤウナコトノ爲ニ減少スルコト
ガアリマスナラバ、基礎的ノ改革ヲヤツテ見
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○多田委員 若シサウ云フコトガアリマス
レバ、洵ニ由々シキ問題デアルト云フ大臣
ノ御考ト私ハ同感デアリマス 私ハドウモ
サウ云フ氣ガシテナラスノデス、ト申シマス
ノハ、御承知ノヤウニ六週間現役ガ一年ニ
變リ、現在ハ五箇月トナツテ居リマスケレ
ドモ、師範學校ニ入學スル者ガ必ズシモ此
ノ特與ヲ目當ニ入ツテ居ルトノミ斷定ハ出
來ナイト思ヒマス、併シ入學スル者、若ク
ハ在學生ガ、特別ナル服務ニ對シテ、何時
モ感激性ヲ持ツテ居ツタト云フコトハ、是
ハ争フベカラザル事實デアリマス、小學校
教員トシテ是ダケノ特別ナル服務ニ當ルノデ
アルト云フコトヲ、非常ニ感ジテ彼等ガ教
育ニ從事スル、又師範學校ノ教育ニ當ル人々
モ、亦此ノ感激性ヲ高調シテ、其ノ教育
ニ當ツテ居ツタト云フコトモ事實デアリマ
ス、カルガ故ニ卒業生ハ待遇ガ惡イ、又薄
給デアル、併シ何等ノ不平モ不滿モ言ハナ
イデ、此ノ國民教育ニ從事シテ來タト云フ
コトハ、是ハ御承知ノ通りデアリマス、併
シ此ノ感激ノ中心トナルベキモノヲ取去ル

ト云フコトデアリマスナラバ、何等カ茲ニ
一ツノ目標ト云フモノヲ與ヘテヤル必要ガ
アルト思フ、軍人諸君ハ生命ヲ國家ニ捧ゲル、
此ノ位大キナ犠牲ハアリマセヌ、薄給ニ甘
ンズルトカ、待遇ニ惠マレナイト云フ問
題デハナイ、而モ進ンデ國家ノ爲ニ働カウ
ト云フ者ガ、年々歳々殖ヘテ居ルト云フ我
ガ日本ノ狀況カラ考ヘテ見マスルト、軍人
タルノ一ツノ感激ヲ持ツテ居ルカラデアリ
マス、然ルニ小學校教員ニシテ此ノ感激性
ヲ取去ルト云フコトデアリマスナラバ、其處
ニ何等カ適當ナル方法ヲ考ヘナケレバナラ
ヌ、ソコデ今大臣ハ急速ニ方法ヲ考ヘルト
仰シヤツテ居リマスケレドモ、急速トハ凡
ソ何時頃ノコトデアツテ、如何ナル方法ヲ
以テ此ノ小學校教員ニ酬イントスルノデア
ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○荒本國務大臣 只今御話ノアリマシタ如
ク、一ツノ特典ニ依ル感激ガ、此ノ方向ニ
向フ一ツノ大イナル指標トナツテ居ル、此
ノ第一ノ問題ヲ私ハ次ノヤウニ考ヘタイト
思ウテ居リマス、今日マデノハ消極的ナ特
典デアル、過去ニ於テハ、兵役ト云フモノガ
國家ニ對スル一ツノ御奉公デアリニ拘ラズ、
明治中葉頃ニ於テハ例ヘバ漸ク兵役ヲ逃レ
タト云フヤウナ言葉サへ、常語トシテ使

ハレテ居ツタノデアリマス、今日ハ既ニ國民ノ自覺——殊ニ國際的ニ斯ウ云フヤウナ状態ニナツテ來タノゾ、積極的ニ考ヘテ行ク點カラ、幹部候補生ノ志願モ出來、更ニ起ツテ陣頭ニ立ツコトモ出來ル、進ンデ之ヲ一ツノ榮譽ト考ヘルト云フヤウナコトモ、心ノ置キ方ニ依ツテ、又ハ教育ノ仕方ニ依ツテ、四圍ノ情勢ニ依ツテ出來ルコトデアアルマイカ、別ナ話デ比較ニハナリマセヌケレドモ、例ヘバ朝鮮ノ同胞ガ義勇兵ニ出ルト云フコトヲ以テ、朝鮮ノ人ノ誇トシテ居ルト云フヤウニ、此ノ方面ノ特典ヲサウ云フ方面ニ積極的ニ導クノモノツノ方法デアアルマイカ、又現ニ待遇ハ短期現役兵ヲ廢シマシテモヤツテ居ルコトデアリマス、ソレヤ是ヤヲ併セテ、第一ノ問題ハサウ云フ風ニ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス、第二ノ待遇ノ具體的ノ問題、時期ノ問題デアリマス、是ハ既ニ先年モ腹案ハ持ツテ居ツタノデアリマスガ、可ナリ廣汎ナ問題デアリ經費ガ伴フ問題デアリマスシ、更ニ場合ニ依ツテハ他ノ省トノ深い關係モ持タネバナラズ、サウ云フヤウナコトデ急速ニハ運ビマセヌガ、天職ニ甘ンズル、恰度軍人ノ例ヲ御示シニナリマシタガ、先般來問題ニナツテ居ル教權ノ

確立、教育ヲ他ノモノニ煩ハサレナイヤウナ不動ノ位置ニ置クト云フコトガ必要デアル、斯ウ云フヤウナ點カラ、天職ニ甘ンジテ行ク、之ヲ樂ンデ行ク、而シテ此ノ最モ地味ナ國民教育ニ任ズル者ガ、黙々トシテ、今モ御話ノ通り物心兩方面ニ於テ國家ノ之ニ酬ユル所ガ少イニ拘ラズ、國民教育ノ崇高ナルコトニ對スル國家竝ニ社會ノ觀念ヲ引上ゲルダケノ具體的方法ヲ考ヘル必要ガアリハスマイカ、即チ一方ニ於テハ之ニ對スル名譽ノ表彰ト云フヤウナコトハ、物質ヲ伴ハナクとも直グニ行ハレル方法デアアルマイカ、同時ニサウ申シマスモノノ、悉クノ人ガ聖人ヲ以テ任ズルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、之ニ伴フ所ノ物質ノ方面モ考ヘテ行ク、斯ウ云フヤウナコトデ以テ、豫算ガ伴ハナケレバ伴ハナイデ、出來ルモノカラ施行シテ行キタイ、儲テ何時カラカト斯ウ言ハレマスト、急速ト御答スルヨリ外ニ方法ガナイイカト思ヒマスルガ、既ニ腹案モ持ツテ居リマスコトデアリマスカラ、事務的ニ運ビ得ル範圍ヲ以テ出來ルダケ速ニヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○多田委員 サウスルト入學志望者ガ減ツテ參リマスシ、ソレカラ私ハ轉學ガ相當種エテ來ルト思ヒマス、今日マデハ御承知ノヤウニ二十八歳マデト云フ制限ガアリマシガ、二箇年ノ間服役スルト云フコトデアリマスレバ轉學ガ種エテ、要スルニ優秀ナル青年ヲ教育界ニ引止メルコトハ困難ダ、斯ウ云フ結論ニナリマス、隨テ素質ガ下リマシテ、其ノ範圍ヲ動モスレバ女教員ガ侵シテ參リマス、丁度亞米利加式ノ教育ノヤウニナリマシテ、女教員ガ多クナルト云フコトハ、餘リ小學校教育トシテ感服シタ現象デハナイト思ヒマス、ソコデ素質ノ低下ヨリシテ教員ノ待遇問題ニ觸レルノデアリマスガ、只今文部大臣ハ急速ニト申サレ、ソレカラ又中々急速ニ運バス、腹案ハアルケレドモト云フコトデ、サツパリ私ハ諒解ガ出來ヌノデアリマス、腹案ガアレバ此ノ場合御示シ願フト大變宜シイノデアリマス、第一番ニ精神的待遇ノコトヲ仰シヤラレマシタガ、精神的待遇モ私ハ必要ト思ヒマス、今日小學校ノ先生ハ恐ラク奏任六等デアリマセウガ、六等マデ行ケルト云フダケデ満足セシメルト云フコトハ是ハ宜クナイ、場合ニ依ツテハ小學校教員ハ勅任官マデ行ツテモ宜イノデス、ソコマデ進メルト云フ意氣込ヲ以テ一ツ私ハヤツテ欲シイト思フ、物質的待遇ハ我が千葉縣ノ如キハ僅ニ女教員ノ初

任給ガ四十圓、四十五圓ト云フノデアアル、斯ウ云フ薄給デドウシテ其ノ日ノガ送レルカ、サウシテ小學校ノ先生ダトシテ體面ヲ保ツコトガ出來ルカ、是ハ當然考ヘテヤラナケレバナラヌ事柄デアリマス、第三ニハ教權ノ獨立デアリマス、小學校ノ先生ハ無暗ヤカラニ町村長ニ頭ヲ下ゲナケレバナラヌ、町村長ト縣ノ視學アタリト手ヲ組メバ、何時デモ首ヲ切ラレルト云フ狀況ニ置カレテ居ル、隨テ町村長ヤ役場員ノ所ニ出入リシテ、酒ノ味モ覺ニ踊ノ一ツモ覺エルト云フコトニナル、隨テサウナルト卑屈ニナル、此ノ國民教育ノ大任ヲ預ル者デ、明朗闊達ナル氣風ト云フモノハ、失禮ダケレドモナイ者ガ相當アルト申シテ宜カラウト思フ、苟モ小學校教育ニ携ル者ハ、モウ少シ大國民ラシイ氣分ヲ以テ、イデケナイ氣分デ行カナケレバナラヌ、私ガ中學時分ニ聞イタ話デアリマスガ、千葉市アタリデハ「粹ナ中學、不粹ナ師範、女蕩シノ醫學生」ト云フコトガ流行ツテ居ツタ(笑聲)其ノヤウニ、粹ナ中學、不粹ナ師範トマデ言ハレテ居ル位デアルカラ、人間ガイデケテ問題ニナリマセヌ、其ノイデケテ直スニハドウスレバ宜イカト云フト、待遇ノ向上ト名譽ノ表彰ヲシテヤル必要ガアル、ソレト同時ニ教權

ノ獨立ヲシテヤル必要ガアル、ソレガ爲ニハ教員ノ俸給ハ早急ニ少クトモ全額國庫デ以テ出シテヤルト云フコトニシテ、町村長アタリニソナニ頭ヲ下ゲナイデモヤレルヤウニシテヤラナケレバナリマセヌ、今一ツ考ヘルコトハ學務部長ト云フモノヲ縣知事ノ下ニ付ケテ行クコトハ一體ドウ云フコトデアルカ、ナゼアレヲ文部省ノ所管ニ入レナイカ、學務部長ガ何カシヨウトシテモ、縣知事ニ頭ヲ抑ヘラレテヤレナイト云フ現在ノ狀態ニナツテ居ル、之ヲ文部省ノ直轄ニ置イテ、文部大臣ガ直接ニ監督スルヤウナコトニシテヤレバ、茲ニ教員俸給全額國庫補助ト相俟ツテ、教權ノ獨立ト云フコトガ初メテ完成シ得ルノデハナカラウカト思フ、ソレト又今日ノ狀況ヲ見マス、餘リニ教員ノ首ヲ早ク切りマス、何處ノ府縣デモ恐ラク五十歳以上ニナツテ小學校ノ教員ヲヤツテ居ル者ハ少カラウト思フガ、是ハ非常ニ矛盾シテ居ル、折角無暗ニ金ヲ掛ケテハ五十歳以上ニナルト首ヲ切ル、五十歳以上ニナツテ小學校ノ生徒ト一緒ニ遊ンデ、オ互ニ融和シテ行クト云フコトハ、精神、肉體共ニヤツテ行ケナイ者モアルカモ知レマセヌケレドモ、校長トシテ、指導者トシテ相當ヤツテ行ケル者ハ、私ハ行カ

シテヤツテ宜イト思フ、無茶苦茶ニ早ク首ヲ切ラヌト云フコトハ、是ハ教員ニ對シテ生活ノ安定ヲ得セシムルコトニナル、斯ウシタコトガ澤山相俟ツテ行ケバ、師範學校入學者ト云フモノハ今後相當殖エテ行クデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○荒木國務大臣 師範學校ノ生徒ノ素質ノ問題デアリマスガ、是ハ餘リ此處デ私ハ申シタクナイト思ヒマスルガ、特別ノ方法トシテ給費其ノ他ノ方法デヤツテ居リマスルコトガ、過去ニ於テハ動モスルト他ノ方面ニ伸ビルコトガ出來ナイガ爲ニ師範學校ニ入ルト云フヤウナ傾向モ多クアツタノデアリマス、此處ガ素質ガ非常ニ云々サレルコトデアリハシナイカ、併シナガラ之ヲ以テ満足スベキデハナクシテ、過去ニ於ケル國民教育ニ任ズル者ニ對スル待遇、今御示ノヤウナ待遇ソレ自體ガ一つノ禍ノ原因デア

ル、又國民教育ニ任ズルト云フコトノ重要性ヲ或ハ社會モ國家モ重キヲ置イテ居ラナカツタト云フ所ニ大キナ缺陷ガアルノデハナイカト私ハ私カニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ今ノ官等ノ問題デ奏任勅任ト云フ問題モアリマスルガ、寧ロモウニツ離レタ國民教育ニ一年デモ多ク從事シタ者デ、而

モ其ノ人ノ教化ニ及ボシタ效果ノ多イト云フ人ハ、他ニ比較ノ出來ナイ程崇高ナモノデアル、アア云フ位置ニ安ンジテ永イ間學童ヲ相手ニシテヤツテ、而モ良キ教化ヲ與ヘテ其ノ天職ニ甘ンズルト云フ人ハ、到底他ノモノヲ以テ比較ノ出來ナイト云フ何カ表彰ノ方法ガアルノデハナイカト私ハ信ジテ居ル、隨テ國民教育ニ任ズルト云フコトガ如何ニ崇高ナモノデアルカト云フコトヲ十分ニ自覺サセタイ、此ノ點ガ出來マスレバ、今後段ニ御述ニナリマシタ教權ノ確立ハ組織ノ變更モ自然ニ出來マセウシ、又變更セズトモ茲ニ十分ナル考ガ及ブノデハナイカ、是ハ基礎問題トシテ私考ヘルノデアリマス、併シ何時デモサウ云フコトヲ考ヘマシテモ、實際問題トシテハ人情ノ赴ク所ガアリマスルカラ、教權ノ確立ニ對シテハ先般來可ナリ論議モアリマシタシ、省内ニ於テモ可ナリ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、學務部長ノ問題モアリマスルシ、更ニ小學校ノ教員ノ進退問題ニ關スル地方町村ノ問題モアルノデアリマス、是等ハ一括シテ今ノ問題ト共ニ大イニ考フベキ問題デア

アル、之ニ關シテモ十分先程申上ゲマシタヤウニ出來得ルダケ早ク是等モ一括シテヤツテ行キタイト云フ先程申上ゲタ中ニ含有

シテ居ルコトデアリマスカラ、ドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○多田委員 一體師範學校ニ入ル生徒其ノモノガ實ハ餘リ感服シナイト思フノデアリマスガ、今日マデハ一つノ感激性ヲ與ヘラレル目標ガアツタ、ソレカラ自費デナイト云フコトデ頭ノ良イ者ガ動モスルト餘計ナル傾向ガアリマシタ、或ル府縣ノ如キハ下層社會ノ頭ノ良イ人ノ子弟ガ入ル、隨テ其ノ人ノ人格、其ノ人ノ生ヒ立ト云フヤウナコトハ殆ド考ヘラレナカツタ、ソコデ養成サレタル教員ト云フモノハ餘リ感服シナイ者バカリデアツテ、ソレガ到頭赤イ思想ノ方ニ感染シタト云フ實例ヲ私聞イテ居リマスケレドモ、サウシタ入學者ノ素質ト云フモノヲ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ又體格ノ方面ニ付テモ文部省ニ於テハ特ニ考ヘラレル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスルガ、今茲ニ表ヲ貫ヒマシテ一寸分ラナクナリマシタケレドモ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、師範學校卒業者、體格等位別人員調ト云フノヲ見マス、昭和十

年六千二百二十八人卒業シタ、其ノ中甲種ノ者ガ千九百五十四人、第一乙ハ千七百三十七人、第二乙ハ九百五十人デアツテ合格者總計ガ四千六百四十一人、アト千五百人

年六千二百二十八人卒業シタ、其ノ中甲種ノ者ガ千九百五十四人、第一乙ハ千七百三十七人、第二乙ハ九百五十人デアツテ合格者總計ガ四千六百四十一人、アト千五百人

者總計ガ四千六百四十一人、アト千五百人

バカリト云フモノハ不合格者デス、斯ウ云フコトハ小學校教員ノ結核ノ問題ニナツテ來ル、色々ナ方面ニ影響シテ來ルノデアリマスカラ、是ハ特ニ御考ヲ願ハナケレバナラヌト思フ、昭和十三年ハ六千八百八十八人卒業シタ、其ノ合格者ガ僅ニ四千九百九十五人、不合格者ガ千八百九十三人、コンナ大キナ數字ヲ示シテ居ル、デアリマスカラ入學者ノ生徒ノ家庭、生徒ノ智能、生徒ノ體格、斯ウ云フヤウナコトヲ能ク御考ヘニ

トデヤツテ居ル、アア云フ行キ方デハ師範學校ノ生徒ハ不粹ナ生徒ニナラザルヲ得ナイト思フ、モウ少シヤリ方ガアルノデハナイカ、少クトモ中等學校、師範學校ノ先生ハ國家デ以テ統一ヲシテ調整シテ行クト云フコトデナケレバ本當ノ教育ハ出來ナイノデハナイカト思ヒマスカ、此ノ師範學校入學者ノ素質ノ問題ヤ又師範學校教員ノ問題ニ付テ、私ノ今申上ゲルコトニ付テ如何ニ御考ヘニナリマスカ

ヘル必要ガアラウト思ヒマス、或ル時代ニ於テハ、地方ニ於テハ中産階級以上ノ人ノ最モ安全ナル一ツノ職務トシテ師範學校ヲ撰バレタ向ガアル、或ハ他ノ學校ニ行キマスルト途中デ以テ甚ダ不安デアアル、マア師範學校デアレバ總テノ點ニ於テ地味デアアルト云フ、今不粹ト云フ御話ガアリマシタガ、其ノ邊モ見マシテ甚ダ安心デアルト云フヤウナコトデ、殆下師範學校ヲ撰バレタト云フ時代モアツタヤウデアリマス、ソコラガドウモ國民教育ト云フモノガドンナモノデアアルカト云フコトガ徹底シナイ一ツノ結果デアル、ソレハ再三先程アタリノ御質疑ニ對シテ御答シタ中ニ申述べタ如ク、國家ガ之ニ對スルコトガ甚ダ十分デナカッタト云フ點ガ主ナルモノト思ヒマスカラ、是ハ其ノ根本ニ對シテ先程述べマシタヤウナ改革ヲ行ツテ、優良ナ者ヲ採ルヤウニシタイト思ヒマス

先生ガ立ツテ言フダケデ、單ニ盲啞生ノミナラズ、恐ラクハ國民教育ノ上ニモ非常ニ大キナ感化ヲ及ボスノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘテ、今後或ハ一肢ヲ失ヒ、或ハ一眼ヲ失ツタ人ノ中カラ寧ロ天職ニ甘ンジテ一生ヲ其處ニ捧ゲルト云フヤウナ人ガ出ルノデハナイカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、今ノ體質ノ問題ト併セテ愚見ヲ申上ゲ、御參考ニ致シタイト思ヒマス

第二點ノ問題ハ、師範學校ノ教員ガ方々カラ入ツテ來テ統一ガナイ爲ニ優良ナ教員ガ得ラレナイデハナイカ、國家デ以テ之ヲ統一シタラドウカト云フ問題デゴザイマスガ、前カラ申上ゲタヤウナコトヲ綜合致シマシテ、師範學校ニ於テ必要ナ教育ヲ受ケタ者ノ以外ニモ、今申上ゲルヤウナ點マデニ互ツテ各方面デ考ヘタナラバ、御要望ノ點ガ滿チルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、極端ナ例ヲ申上ゲタノデ、其ノ間ニ挾ンデ御考下サツタラ御了解願ヘルト思ヒマス

ナツテ採用スルト云フコトニシナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ又師範學校ノ生徒ヲ教ヘル教員ト云フモノニ對シテ私ハ餘程考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ、今日

ノ師範學校中學校教員ハ失禮デアリマスケレドモ、中々立派ナ者モ多イデスケレドモ、餘リ感服シナイ者モアルト思ヒマス、ソレハ何處ニ缺陷ガアルカト申シマスト教員ニ對スル統一ガナイ結果デハナカラウカト私ハ思フ、東京帝國大學ノ文科ヲ出タ者

モ國語、漢文ノ中學校ノ先生、師範學校ノ先生ニナル、或ハ私立大學ヲ出タ者、私立專門學校ヲ出タ者モナレル、高等師範出ノ人モナレル、檢定試験ヲ受ケテモナレルト云フヤウナコトデ、雜多ナ者ガ集ツテ俺ハ漢文ノ先生、コツチハ物理ノ先生ト云フコ

トモモ大臣ノ御話ハ餘リ旨クテ能ク分ラヌノデスケレドモ、併シ餘リ諄ク申上ゲテモ如何カト思ヒマスカラ、次ニ移リマスカ、第二番目ニ伺ツテ見タイト思ヒマスコトハ學生ノ徵兵猶豫期間ノ短縮問

題デアリマスガ、短期現役ヲ廢止スルト云フコトハ、要スルニ教育界ノ刷新、教員ノ待遇改善ト云フコトト併行シテ行カナケレバナラヌコトト思ヒマス、ト同時ニ今回徵兵令改正ニ依ツテ實現セントシテ居ル今申シマシタ學生ノ徵兵猶豫期間ノ問題ハ、教育制度ノ問題ト併行シテ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、寧ろ私ハ教員ノ待遇ノ問題若クハ教育制度改革ノヤウナモノヲ先ニヤルカ、然ラズンバ此ノ徵兵令改正ト一緒ニヤルベキ問題デアッタト思フノデス、所ガ大臣ノ御話デハ早急ニヤルト言ツテモ中々難方シイト云フヤウナ御話デ、ドウモ私ニハハツキリシタ所ヲ摺ミ得ナイノデアリマスケレドモ、此ノ教育制度改革ニ付テドウ云フ御考ヲ持タレテ居ツテ、何時カラ又之ヲ實行シヨウト御考ニナツテ居ルノデアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

テ、文部省ノ方ニソレヲ受取ツテ居リマス、内閣デ制定セラレマシタ此ノ機關ヲ通ジマシテ、十分ニ審議ガセラレルノデアリマスカラ、ソレヲ十分参照致シタイト思ツテ居リマス、併シソレノミヲ俟ツマデモナク、當局ト致シマシテハ工夫ヲ致シタイト思ツテ居リマス、非常ニ深く考ヘマスルト、審議會ノ御答申モアルノデアリマスガ、私ハ更ニ一步深く此ノ教育制度ト云フモノヲ考ヘ直ス必要ガアルノデハアルマイカ、單ニ教育問題ノミナラズ、全般ノ問題ニ互ツテ改革スル必要ガアルノデハナイカ、例ヘバ兵制ノ問題ニ付テ今御話ニナリマシタガ、是ハ陸海軍ノ方ノ問題デアリマスカラ、私ハ此處デ今論議スベキモノデモナイト思ヒマスケレドモ、此ノ方面ニ付テモ十分マダ研究スル餘地ガアルノデハナイカト思ヒマス、唯斯様ナ時期デアリマスノデ、茲デ制度ヲイデクツテ居リマシテ、總テノ他ノ制度ノ遂行ノ上ニ支障ヲ來シテハ濟マヌコトデアラウト思フノデアリマシテ、其ノ邊ノ關係ガ極メテ微妙ニ動クモノデアリマスカラ、私共自分ノ考ヘテ居リマス根本ノ問題ニ觸レル爲ニハ更ニ時ヲ要スルト思ヒマスルガ、我が國體ニ副フ如ク、教育モ、他ノ諸般ノ問題モ統合セラレタ改革ガ行ハレナケレバ

ナラヌノデハナイカ、世間デ言ハレマシヤウナ唯全體主義的ノ革新デアルトカ、唯何ノ革新デアルトカ云フノデナシニ、モウ一步進ンデ根本ノ改革ノ基礎ガ必要ナンデヤナイカ、之ニハ我が國體ノ特殊性、尊嚴性ト云フモノヲ肚ニ置イテ、歐羅巴ヤ亞米利加デ行ハレタ諸制度ト云フモノヲ十分ニ咀嚼シタモノカラ出發シナケレバ、今ノモノヲイデクリ廻シテモ結局ソレハ歐米ノ變化スルノニ引摺ラレテ行ツテ、何處マデモ我が國體ノモノニナラナイノデハナイカ、マア根本的ニ考ヘマスト、サウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、サウ考ヘルバカリデナシニ、出來得ルコトヲ各方面ト交渉モ致シ、審議會ノ最後ノ場合ニ於テモ御諮リシタイ、斯様ナコトニ依ツテ審議會ノ意見トモ合ヒ、更ニ根本ノ問題ニ關スル點ヲ、此ノ時局ノ障礙ニナラナイ程度ニ於テ各方面ト交渉シツツ實行シタイ、マア根本ノコトヲ申上ゲルト今ノヤウナコトデアリマス、少シク抽象ニ互リマシタノデ、或ハ又御小言ガ出ルカト思ヒマスケレドモ、御諒承ヲ願ヒマス

持ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、モウ少シ私共ノ分ルヤウニ、具體的ニ斯ウ云フコトニスルンダト云フ一二ノ點ガ分レバ大變宜イト思フノデスガ、モウ一應御答辯ヲ御願致シマス

○荒本國務大臣 一寸私モ御尋ノ點ガ能ク分ラナイノデスガ……

○多田委員 今大臣ハ教育制度ノ改革ハ徒ニ西洋流ニ囚ハレタリナンカシナイデ、我が日本固有ノ國體ノ特殊性ニ鑑ミテ、之ヲ根本トシテ改革スルンダ、斯ウ仰シヤツタヤウニ伺ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレナラバソレニ副フヤウニスルニハドウ云フ風ニナサレルノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、斯ウ申上ゲタノデス

○荒本國務大臣 ヤハリ非常ニ廣汎ナ問題ノヤウニ承ルノデゴザイマスカラ、自然御答フスルノニ、基礎ノ問題ニ入ルノデアリマスガ、教育審議會ノ問題ヲ今申上ゲマシタ、教育審議會ニ於テ行ハレテ居リマシテ居ル青年學校ノ問題、又師範學校ノ問題、ソレカラ今中等學校ノ問題ニ入リマシテ、更ニ高等教育ノ方面ニ入ルノデアリマスガ、是等ヲ一貫致シマシテ、或ハ知的ニ偏スル問題トカ、或ハ一ツノ就職ノ爲ノ問

○荒本國務大臣 話ノ仕方ガ拙ナ爲ニ却テ御分リニクカツタノデアリマスガ、再三御問ヒ下サイマシレバ、十分ニ御答ヲシタイト思ツテ居リマス、教育制度ノ問題ハ丁度教育審議會ガ開カレテ居リマスノデ、過般國民學校ノ問題モ決定致シタノデアリマスガ、師範學校ノ問題モ答申ヲ既ニセラレ

○多田委員 ドウモ私ニハ能ク分ラヌノデアリマスガ、國體ノ特殊性ニ根本ヲ置イテト云フコトデスカラ、中々高遠ナ理想ヲ御

題デアルトカ、或ハ深キ學術ノ研究ノ問題デアルトカ云フヤウナ點ヲ茲ニハツキリ分ケマシテ、職場ニ出テ行く人ノ教育、深ク學問ノ研究ヲスル人ノ教育、更ニ國家國力ノ實際ノ中堅トナルベキ人ノ教育ト云フヤウナ點ヲハツキリ區別致シマシテ、之ニ對シテ直チニ御役ニ立ツヤウニ、智能ヲ直グニ行ノ問題ニ移シテ、或ハ職業教育ト合セテ智能教育ヲスル、知ツタコトヲ直チニ行フヤウニスル、即チ職場ニ出テ行くヤウナ場合トカ、又中堅層トナルト云フヤウナ場合ニ於テハ、校外ノ教育機關ト云フモノヲ振興シテ見タイ、先ヅ與ヘラレタ時間ヲ悉ク講堂デ過スト云フヤウナコトデナシニ、有能ナ人デアツテ而モ僻地ニアル、或ハ他ニ職ヲ持ツテ居ル爲ニ動ケナイト云フ人ガ立ツテ、自ラ進ンデ研究シテ自ラ役ニ立ツト云フヤウナ校外機關即チ社會機關ト云フモノヲ設立スル必要ガアル、例ヘバ圖書館ノ如キ、或ハ技術關係デ言ヘバ科學研究館ノ如キ、或ハ精神的ニ言ヘバ道場ノ如キ、而シテ社會ノ名望德望ノアル有能ナ人ガ進ンデ自ラ是等ノ指導ニ當ラレル、サウ云フ機關ガ社會的ニ出來マスルナラバ、我が國體カラ致シマシテモ、一ツノ免狀、或ハ試験ノ點數ニ依ツテ自分ノ一生ヲ支配セラレ

ルコトナク、必ズ有能ナ人ガ出來ルト思ヒマス、是ハ他ノ國ニ於テハサウ云フ點ハ餘程制度ヲ作ラナケレバムヅカシイト思ヒマシガ、我國ノ狀態カラ言ヘバ、我が國體ノ御示シニナツテ居ル所ガ十分ニ徹底シマスレバ、之ニ依ツテ教育費モ省ケレバ、又實際有能ナ人ガ出來ルノデハナイカ、斯様ナコトヲ考ヘレバ、學校制度ヲ今ノヤウナ風ニ變ヘルト同時ニ、校外ノ研究機關ヲ設ケテ研究ノ便宜ト云フモノヲ十分ニ考ヘテ、雙方併セ行ツタナラバ、教育ノ機會均等モ行ハレ、又今日ノヤウナ入學難モ解消セラレ、サウシテ職場ニ出テ直チニ必要デナイモノ、自分ガ今マデ教育ヲ受ケナイ職業ニ携ツテ長イ間不便ヲスルト云フヤウナコトモ解決セラレルノデハナイカ、輪廓ヲ言ヘバ左様ナ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○多因委員 私ノ今伺ツテ居ルノハ、猶豫期間ガ短縮サレタ、之ニ伴ウテ一ツ改革スベキ點ガナイカト云フ局限サレタコトヲ申シテ居ルノデアリマス、大臣ニハ廣汎ニシテ高遠ナル根本ニ付テ御話ニナツテ居ラレマシタガ、是ハ私ノ考ヘ方ヲ一寸申上ゲテ大臣カラ御答ヲ得ルコトガ一番簡單デハナイカト思ヒマス、私ハ修學年限ノ短縮ヲヤツクラドウカ、例ヘバ中學校ノヤウナモノ

ハ現在四年修業スルト直グ上級ノ試験ヲ受ケラレ、而モ五年制ト云フヤウナコトニナツテ居ル、ソレカラ又大學ハ高等學校ヲ三年シテ又三年修學スルト云フコトニナツテ居リマスガ、一般國民ヲ教養シテ行クト云フ建前カラ申シマスレバ、六年間モヤル必要ハナイト思フ、ヤハリ專門學校程度ニシテ中學ヲ卒業シテ三年位ヤツテ行ケバ、ソレデ宜シイト思フ、詰リ國民トシテノ學問ヲ教ヘルコトト、研究ヲスルコトトヲ區別シテ行ク必要ガアラウト思フ、サウシテ學生ガ徵兵猶豫ノ短縮ニ依ツテ迷惑ヲ受ケル——斯ウ言フト語弊ガアリマスガ、ソレニ引掛ラスヤウニ、一ツ教育ノ道ヲ講ジテヤルヤウニシタラドウカ

今一ツハ、今日ノ學生ハ中々上級學校ニ入レナイ、小學校デモ中學校デモ皆試験地獄デ、親モ本人モ苦シミ國家モ苦ンデ居ル狀況デアリマスカラ、此ノ試験地獄ノ緩和スル適當ナ方法ヲ講ジテヤツタラドウカ、即チコンナ學問ヲシタイト云フ氣分ガ旺盛ニナツテ居ル以上ハ、ドシ／＼學校ヲ作ルガ宜シイ、官立學校ヲソナニ作レナイト云フナラバ、私立學校デ宜イ、私ハ私立學校ニ重キヲ置イテ居ルガ、之ヲドシ／＼作ツテ、而モ國家ガ補助助成ヲシテヤルト云

フコトニシテ、安ンジテ學生ヲシテ修學セシムルヤウナ方法ヲ講ジテヤルトニナリマスレバ、ヤハリ徵兵猶豫ノ方面ニ付テモ亦緩和スルコトガ出來ル、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、修學年限ノ一般的ノ短縮及ビ試験地獄ヲ緩和スル適當ナル方法ハナイカ、此ノ二點ニ限ツテ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○荒本國務大臣 修學年限ノ短縮ト兵役ノ關係ニ付テハ、丁度ニカラ審議會デ問題ニナル所デアリマスガ、御説ノヤウニ或ル程度ニ短縮シマシテ、サウシテ今言ハレタ徵兵延期ノ爲ニ生ズル所ノ弊害ノ如キハ、殊ニ職場ニ出ル人ニ付テハ考慮スルコトガ必要ダト考ヘテ居リマス、御説ノヤウナ點ハ大イニ考ウベキ一ツノ案トシテ私モ考ヘテ居リマス

入學難ノ問題ハ、只今私立學校ノコトヲ御指示ニナリマシタガ、私モ御同感デアリマス、唯如何セン、今ノ私立學校ハ動モスルト營業本位ニ走ル傾キガアリマス、是ハ無理モナイ點モアラウト思ヒマスシ、又設備ガ不十分ナ點モアリマスノデ、有能ナ人ヲ十分ニ吸收出來ナイト云フ點モアリマス、併シ私立學校ハ一ツノ特性ヲ持ツテ居リマスノデ、立派ナ人格者ガ其ノ指導ヲシマス

ルナラバ、到底官公立ノ及ブベカラザル一ツノ學風ヲ生徒ノ精神ノ上ニ及ボスコトガ多イト思ヒマス、是等モ一ツノ考フベキ問題トシテ、先般來入學難緩和ノ一方便トシテ考ヘテ居ル次第デアリマス、御意見ノ點ハ確ニ一ツノ方法ト存ジマシテ、十分ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○多田委員 モウ三時半ニナリマスカラ、一ツダケ伺ヒマシテ又後ノ機會ニ譲リマシテ、短期現役ヲ廢シマシテ、其ノ場合ニ於ケル教員ノ補充方法ヲドウナサル御積リデアリマセウカ、十萬圓ノ豫算ヲ計上シテ之ヲ補充シテ行クト云フコトデアリマスガ、

ドシナ方法デ何人ガ教育ヲシテ行クノデアルカ、其ノ具體的ノコトガオ分リデアリマシレバ、政府委員ノ方カラデモ御伺シタイト思ヒマス

○藤野政府委員 短期現役ノ廢止ニ伴ヒマシテ、丁度昭和十五年ノ三月ニ卒業スル者カラ服役期間ガ長クナルノデアリマス、一般ト同様ニ約二年ノ服役ヲ致シマス、其ノ關係デ昭和十四年度ト十五年度ノ兩年度ニ互リマシテ、大體二千四百名ヲ目途ト致シマシテ、師範學校ニ於テ生徒ヲ増募致シテ居リマス、此ノ爲ノ經費ガ大體十萬圓バカリ増額計上致サレタ次第デゴザイマス

○多田委員 十五年ノ三月卒業スル者カラ短期現役ガ廢止サレルト云フコトニナリマスト、檢査ヲ受ケテ入營スル時期ハ十五年ノ何月ニナリマセウカ、陸軍當局ノ御方カラデモ結構デゴザイマス

○今村説明員 一番早イノガ昭和十五年ノ十二月一日デゴザイマス、爾後十二月十日、一月十日、三月一日、或ハ最モ遅イノハ昭和十六年ノ九月一日頃ノ入營モアルト考ヘマス

○多田委員 早イノハ十二月一日入營スルト云フコトデアリマスガ、只今文部當局ノ御説明ヲ聽キマスト、十四年、十五ニ互ツテ教育ヲスルト云フコトデアリマス、恐ラク十四年ノ四月一日カラ教育ヲスルト云フコトニナリマセウガ、如何デスカ

○藤野政府委員 仰セノ通り増募ハ十四年ノ四月カラ入學ヲサセマシテ、此ノ方ハ第二部ノ増募デアリマスルノデ、十五年ノ終リニハ其ノ二千四百名ガ卒業ヲ致スコトニナルノデアリマス、其ノ卒業ヲ致シマス頃ガ丁度今陸軍ノ方カラ御説明ノゴザイマシタ十二月以降ノ入營期ニ互リマスルノデ、ソレマデノ間ハ卒業者ハ約一年ニ近ク小學教員ノ實務ニ就クコトニ相成ルノデゴザイマス、丁度此ノ人々ガ一年バカリ實務

ニ就キマシタ上デ入營ヲ致シマスル、其ノ翌年ノ三月末ニハ只今増募致シテ居リマス卒業生ガ卒業致シマスコトニ相成リマス

○多田委員 サウシマスト十四年ノ四月一日カラ教育ヲシタ者ガ十五年ノ十二月一日ニハモウ教員ニナツテ居ラナケレバナラヌ筈デス、サウスルト今ノ二部ノ教育制度ト云フモノハ中學ヲ卒業シテ滿二箇年間教育シテ教員ニナルノデアリマスケレドモ、此ノ方法デ行キマスト十二月一日マデ、即チ四箇月間小學校教育ト云フモノハ短縮サレタ教育ヲ受ケタ者ガ出ルト云フコトニナルノデアリマスガ、左様ニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○藤野政府委員 私ノ説明ガ不十分デアツタカト存ジマスガ、十四年ノ四月カラ教育ヲ致シマスル生徒ハヤハリ二箇年間ノ修業ヲ致シマスルノデ、十六年ノ三月ニ卒業致スノデアリマス、ソコデ御尋ノ點ニ依リマシテ拜察ヲ致シマスルノニ、ソレハ寧ロ十五年ノ十二月マデニ卒業サシテ置クベキデハナイカト云フ御意向モアルヤニ御察シヲ致スノデアリマスルガ、只今陸軍ノ方デモ御説明ノアリマシタ通り、服役者ハ卒業生ノ全部デハゴザイマセヌデ、其ノ一部デゴザイマス、サウシテ十二月ニ入りマス者ハ、

其ノ卒業者中アリ得ルト致シマシテモ其ノ一部デゴザイマス、隨テ増募分ノ卒業期ハ三月末ニナリマスガ、其ノ間市町村ニ於テ配當教員ノ不足ヲ告ゲマスル期間ト云フモノハ全部ガ三箇月間不足スルト云フコトニハナラヌト存ジマス、入營期ガ、三月ニ入ルヤウナ者ニ付キマシテハ殆ド若干日ノ教員ノ配當ガ無イト云フダケニ止マルト云フコトニモ相成ラウト考ヘマス

○多田委員 ソコナンデス私ノ言フノハ……鬼ニ角若干日デモ教員ノ不足ヲスルト云フコトガ困リハセヌカ、デアリマスカラ今ノヤウナ質問ヲシタ譯デス、此ノ點ハソレデモ教育上少シモ差支ガ無イト云フコトデアリマスレバ、是ハ敢テサウ詮議立テスル必要ハアリマセヌケレドモ、如何デアリマスカ

○藤野政府委員 其ノ點ハ現在御承知ノ通りニ短期現役ノ五箇月ニ於キマシテモ、實ハ四月ニ卒業致シマシテ八月マデハ入營ヲ致シテ居リマス、其ノ間ハ服役者ニ付テハ配當ハ致シマスルケレドモ、實際ハ服役シテ教員ガ無イ状態ガ市町村ニ於テ起ツテ居ルノデアリマス、ソレト是ト比較致シマスレバ、假ニ期間ダケ見マシテモ、最大限三箇月デゴザイマスカラ、五箇月ニ較ベマ

スレバ尙ホ輕イノデアリマス、且ツ又斯様

ニ相成リマスレバ一般ト同様ニ甲種程度ノ者、甲種ニ相當スル者ガ入營ヲ致スノデア

リマス、短期現役ノ際ノ如ク甲乙兩程度ノ者ガ服役ヲ致ス場合トハ自ラ又範圍モ違ヒ

マス譯デゴザイマス、一方市町村ノ小學校ニ於キマシテハ多少補助教員等ノ設ケノア

リマス學校モ少クゴザイマセス、校長補助ノ爲ニ學級ヲ擔任セザル教員ヲ持チマス

學校モゴザイマス、若干ノ期間補助教員ノアリマス所ハ其ノ補助教員ヲ以テ充當ス

ルト云フヤウナ途モアラウカト思フノデアリマス

○多田委員 私ハ斯ウ云フコトハ萬全ヲ期スル必要ガアルト思ヒマスノデ、敢テ斯様

ニ申上ゲルノデアリマスガ、特ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今度増募ス

ル教員ノ數ハ幾人デゴザイマスカ

○藤野政府委員 大體二千四百人ヲ目標ト致シテ居リマス

○多田委員 サウスルト本年三月ニハ豫定通りノ數ガ出テ來ル、ソレカラ今度新ニ増

募シタ教員ガ教育ニ從事シテ居ル間ハ、師範入學生ノ募集ト云フモノニ對シテ何カ適

當ナ方法ヲ講ズルノデアリマスカ、今マデ通りズツトヤツテ行カウト云フ御考ナノデ

スカ

○藤野政府委員 今回ノ計畫致シテ居リマス十萬圓ノ補助ニ依リマシテ、二千四百人

ヲ二箇年間繼續増募スルト云フ關係ハ、是マデト違ツテ服役期間ガ二箇年間ニナリマ

ス關係上、十五年以後二箇年間發生スルコトガアルベキホンノ經過的ナ教員不足デゴ

ザイマシテ、其ノ年次、詰リ十五、十六年度ヲ終リマスレバ、最早サウ云フ不足ハ生

ジマセヌデ、二年次兵ガドンノ交代ニ還ツテ參リマスノデ此ノ關係ハ、詰リ二千四

百人ノ増募ハ十四年度、十五年度ノ兩年度ニ限りマシテ、其ノ他ノ師範學校生徒ノ募

集ハ從前通り當該府縣内デ教員需給ノ狀況ヲ見マシテ、繼續實施ヲスル見込デゴザイ

マス

○多田委員 ソコデ私ガ疑問ガ起ルノハ増募二千四百人二箇年デヤル、年々ノ教員ノ

卒業生ト云フモノハ今マデ通り同ジダ、サウスルト其ノ服役ヲシタ教員ガ還ツテ來ル

ト云フト、ソレダケ餘ル結果ヲ來タシマセヌカ

○藤野政府委員 能ク分リマシタ、如何ニモ御尤ニ存ジマスガ、御承知ノ通りニ是等

師範學校ヲ出マシタ有資格教員ハ、全體ノ小學校教員カラ見マスルト約七割強ノ程度

デゴザイマシテ、尙ホ代用教員ナドガ相當

ニアルノデゴザイマス、デ確ニ仰セノヤウニ二千四百人ヲ二箇年間増募致シマスルト

有資格者ガソレダケ殖エルコトニナリマスガ、是ハ結局代用教員等ノ無資格教員ヲ成

ベク減少スルト云フコトニナルノデアリマシテ、仰セノ通り過剩ト云フ關係ニハナリ

マセヌ譯デゴザイマス、且又一面ニハ年々學級ノ自然増ト云フモノガ相當ニアルノデ

ゴザイマシテ、是等ニモ充當セラルベキ結果ニ相成ルノデゴザイマス、斯様ニ考ヘテ

居リマス

○多田委員 學級増ノ爲ニ補充スル教員モアリマセウ、併シナガラ今御話ノヤウニ代

用教員ナドハ皆首ヲ切ツテシマツテ、サウシテ其ノ方ヲ補充スルト云フヤウナヤリ方

ハ、是ハ餘リ感心シタコトデナイ、是ハ餘程注意ヲシテ戴カストイケナイ、例ヘバ來

年度ニ入學スル者ヲ幾分加減ヲシテ、其ノ間代用教員デ補充シテ居ツテ、還ツテ來ル

ノヲ待ツテ居ル、アナタノ仰シヤツタヤウニ來年度モ再來年度モ依然トシテ同ジ數ヲ

入レル、サウシテ其ノ二千四百人ガ還ツテ來ル、サウスルト折角今マデ代用教員トシ

テ忠勤ヲ抽デテ居ツタモノヲ失職ノ已ムヲ得ザルニ至ラシメルコトガ相當多カラウト

思フ、是ハ餘程考ヘテヤラストイケマセヌ

カラ、特ニ御注意ヲ願フテ置キマス

○藤野政府委員 至極御尤ノ御注意ト考ヘマス、代用教員ノ中ニハ御承知ノ所謂期間

代用デ、或ル一定期間ヲ限ツテノ代用教員モゴザイマスカラ、仰セノ通り、ソレ等ハ

成ベク學級増加ニ所要ナル教員等ニ充當致シマシテ、成ベク仰セノヤウナ犠牲者ヲ出

スコトノナイヤウニ十分努力致ス積リデゴザイマス

○多田委員 其ノ點安心ガ出來マスレバ結構デアリマス、私ノ質問ハ長クナリマシタ

カラ此ノ程度デ止メマス

○山本委員長 ソレデハ、今日ハ兩大臣トモ大分勉強サレマシタカラ、此ノ程度デ散會致シマシテ、月曜日ハ午後一時半カラ開會致シマス

午後三時四十二分散會

昭和十四年二月十八日印刷

昭和十四年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局